

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )							
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )							
	2 目	事務局費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )							
小 事 業		教育総務事務局費												
事 業 名		教職員健康診断実施事業												
目的及び事業内容		<p>定期健康診断の確実な実施により教職員の健康状態を把握し、疾患の早期発見や疾病予防に資する。</p> <p>・教職員健康診断の実施</p>												
取 組 実 績		<p>定期健康診断検査項目  診察、身体測定、心電図、血圧、白血球、便潜血、肝臓・尿路系、糖代謝、眼底、肝臓、脂質代謝、血液、胃部X線  健康診断については、市内の教職員のうち人間ドックを受診したものを除き、全員を対象とし実施した。  また、近年増加傾向にあり今後の課題である、精神的な病気へのケアにおいて、正規の勤務時間外における長時間労働者で希望する者へ、医者との面接指導を実施した。</p>												
成 果		<p>定期健康診断を行い、正しく受診することにより健康状態を把握することや、疾患の早期発見、疾病の予防に役立つことができた。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">教職員数</td> <td style="text-align: right;">1,164 人</td> </tr> <tr> <td>健診受診者数</td> <td style="text-align: right;">859 人</td> </tr> <tr> <td>人間ドック受診 (婦人科健診者を除く。)</td> <td style="text-align: right;">203 人</td> </tr> </table> <p><u>受診率 91.24 %</u></p>							教職員数	1,164 人	健診受診者数	859 人	人間ドック受診 (婦人科健診者を除く。)	203 人
教職員数	1,164 人													
健診受診者数	859 人													
人間ドック受診 (婦人科健診者を除く。)	203 人													
成果に係る評価		<p>健康維持・増進や疾病予防に効果を上げているが、近年、精神的な負担が増えている状況が見られ、メンタル面に係る対応についても検討していく必要があることから、正規の勤務時間外における長時間労働者で希望する者へ、医者との面接指導を実施した。</p>												
(単位：円)														
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳										
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
		11,087,769	11,087,769				11,087,769							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																									
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																									
	3 目	教育指導奨励費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																									
小 事 業		教育指導奨励費																														
事 業 名		教育研究団体等支援事業																														
目的及び事業内容		<p>小・中学校の文化活動及び体育活動の充実を図るとともに、県大会以上の大会へ出場する際の交通費の一部助成等により保護者負担を軽減する。</p> <p>・補助金の交付（平成23年度から文化活動と体育活動を一体化）</p>																														
取 組 実 績		<p>補助金の交付</p> <p>音楽コンクール県大会以上に参加した小・中学校に対し、大会に参加する交通費の一部及び楽器輸送費を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県大会参加回数 6回（4校）</li> <li>・東北大会参加回数 1回（1校）</li> <li>・全国大会（東日本大会）参加回数 1回（1校）</li> <li>・補助金交付額 1,166,874円</li> </ul> <p>体育活動県大会以上に参加した中学校に対し、大会に参加する交通費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県大会参加回数 14回（10校）</li> <li>・東北大会参加回数 13回（9校）</li> <li>・全国大会参加回数 7回（6校）</li> <li>・補助金交付額 3,037,842円</li> </ul>																														
成 果		<p>音楽コンクールにおける県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">主な指標項目</th> <th style="width: 15%;">H21</th> <th style="width: 15%;">H22</th> <th style="width: 15%;">H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>5校（8件）</td> <td>6校（9件）</td> <td>4校（8件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>272,250円</td> <td>232,775円</td> <td>1,166,874円</td> </tr> </tbody> </table> <p>体育活動における県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">主な指標項目</th> <th style="width: 15%;">H21</th> <th style="width: 15%;">H22</th> <th style="width: 15%;">H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>20校（71件）</td> <td>20校（74件）</td> <td>11校（34件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>4,048,724円</td> <td>3,894,711円</td> <td>3,037,842円</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H21	H22	H23	補助対象校（補助件数）	5校（8件）	6校（9件）	4校（8件）	補助金交付額	272,250円	232,775円	1,166,874円	主な指標項目	H21	H22	H23	補助対象校（補助件数）	20校（71件）	20校（74件）	11校（34件）	補助金交付額	4,048,724円	3,894,711円	3,037,842円
主な指標項目	H21	H22	H23																													
補助対象校（補助件数）	5校（8件）	6校（9件）	4校（8件）																													
補助金交付額	272,250円	232,775円	1,166,874円																													
主な指標項目	H21	H22	H23																													
補助対象校（補助件数）	20校（71件）	20校（74件）	11校（34件）																													
補助金交付額	4,048,724円	3,894,711円	3,037,842円																													
成果に係る評価		<p>各学校での文化活動に対する補助は、県大会等に参加する際の保護者負担軽減の観点から、継続して推進することが必要である。平成23年度については、河南西中学校が全国大会規模（東日本大会）に出場したことにより、補助金が増となった。</p> <p>また、体育活動については、震災の影響により大会そのものは行われたが、ボランティア団体からの支援等もあったため、補助件数、補助金額ともに減少している。</p>																														
予算の執行状況		（単位：円）																														
		予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																									
4,301,000	4,204,716				4,204,716																											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																	
	3 目	教育指導奨励費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																	
小 事 業		奨学資金費																						
事 業 名		奨学金貸与事業																						
目的及び事業内容		石巻市奨学金貸与条例に基づき、経済的理由により修学困難な生徒及び学生に学資を貸与し、有能な人材の育成を図る。 ・奨学金の貸与・償還																						
取 組 実 績		<p>1 奨学金の貸与</p> <p>(1) 奨学生の新規募集を行い、奨学生選考委員会で26名の新規貸与者を決定したが、うち1名が、他制度の奨学生として採用されたため辞退した。</p> <p>(2) 貸与区分（月額）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高校在学</td> <td rowspan="2">15,000円</td> <td rowspan="2">高専在学</td> <td>第3学年まで</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>第4学年以上</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>35,000円</td> <td>専修学校在学（専門課程）</td> <td>35,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 貸与者数 101名 (4) 貸与金額 36,210,000円</p> <p>2 奨学金の償還 滞納者対策の実施 支払催告通知の発送。また、電話催告については、滞納者の被災状況等を考慮しながら実施した。</p>							区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで	15,000円	第4学年以上	35,000円	大学在学	35,000円	専修学校在学（専門課程）	35,000円	
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																					
高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで	15,000円																				
			第4学年以上	35,000円																				
大学在学	35,000円	専修学校在学（専門課程）	35,000円																					
成 果		<p>有能にも関わらず経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)</td> <td>144人 (41人)</td> <td>132人 (39人)</td> <td>101人 (25人)</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>50,400,000円</td> <td>47,520,000円</td> <td>36,210,000円</td> </tr> <tr> <td>滞納額</td> <td>28,658,000円</td> <td>34,631,200円</td> <td>35,856,700円</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H21	H22	H23	奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	144人 (41人)	132人 (39人)	101人 (25人)	貸与金額	50,400,000円	47,520,000円	36,210,000円	滞納額	28,658,000円	34,631,200円	35,856,700円
主な指標項目	H21	H22	H23																					
奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	144人 (41人)	132人 (39人)	101人 (25人)																					
貸与金額	50,400,000円	47,520,000円	36,210,000円																					
滞納額	28,658,000円	34,631,200円	35,856,700円																					
成果に係る評価		<p>昨今の経済情勢下において、より多くの生徒や学生が奨学制度を利用できるよう家計急変等に対応するため、年度内途中採用を平成22年度から実施している。</p> <p>滞納額については、平成22年度は震災の影響により急激に増加したが、複数年滞納している者があることから、平成23年度においても増加した。</p>																						
(単位：円)																								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
		36,907,000	36,486,526			36,486,526																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )									
	1 項	教育総務費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )									
	3 目	教育指導奨励費		( 1 )	広い視野を持つ人材をはぐくむ		( )									
小 事 業	外国青年英語指導費															
事 業 名	国際理解教育推進事業															
目的及び事業内容	<p>幼稚園及び小・中・高等学校における A L T (外国語指導助手) を活用しての授業や交流を通して、英語教育と国際理解教育の充実を図る。</p> <p>1 市立中・高等学校における英語教育の充実 2 市立幼稚園・小学校・けやき教室における国際理解教育の推進</p>															
取 組 実 績	<p>1 A L T 10名が市立中・高等学校各校を訪問し、英語学習指導と国際理解教育活動の充実を図った。 2 市立幼稚園・小学校・けやき教室を訪問し、外国語活動や国際理解教育の充実を図った。</p>															
成 果	<p>A L T が中学校、高等学校を中心にしながら、小学校・幼稚園・けやき教室にも訪問し、英語活動や国際理解教育を進めることができた。高い水準で「楽しい」と感じる生徒の割合を維持できている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合 ( 中学 1 ・ 2 年生 )</td> <td>81.3%</td> <td>82.0%</td> <td>85.0%</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H21	H22	H23	A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合 ( 中学 1 ・ 2 年生 )	81.3%	82.0%	85.0%
主な指標項目	H21	H22	H23													
A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合 ( 中学 1 ・ 2 年生 )	81.3%	82.0%	85.0%													
成果に係る評価	<p>本年度から、小学校で外国語活動が完全実施された。その対応として外国語活動指導補助員を配置したことに伴い、A L T の小学校への訪問回数は少なくなっている。その分中学校・高等学校への訪問回数を増やして指導を充実させている。</p> <p>また、今後も A L T を J E T (外国青年招致事業による任用) から Non-J E T (民間事業者への業務委託) に段階的に切り替えていく予定であるが、実施に当たっては、その効果を比較検証したうえで取り組んでいくこととしたい。</p>															
予算の執行状況	( 単 位 : 円 )															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
43,335,100	42,506,756				42,506,756											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( 1 )	未来の人を育てる																																
	3 目	教育指導奨励費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( 3 )	子どものケアの実施																																
小 事 業	ハイスクールカウンセラー配置事業費（緊急総合経済対策分）																																							
事 業 名	ハイスクールカウンセラー配置事業 [住民生活]																																							
目的及び事業内容	<p>カウンセラーによる相談活動を通して、生徒・保護者・教職員の精神的安定を図るとともに、問題行動等の未然防止や解決による生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員へのカウンセリングの実施 3 学校におけるカウンセリング講座等の支援活動</p>																																							
取 組 実 績	<p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 市立高等学校2校に配置</p> <p>2 生徒・保護者・教職員の要望に応じたカウンセリングの実施 1日6時間、年間30日の勤務を原則とし、月平均2～3日の勤務体制でカウンセリングを実施した。</p> <p>3 カウンセリング講座等の支援活動 (1) 教職員・生徒を対象としたカウンセリング講座の実施（2回） (2) 教育相談情報交換会・ケース会議（4回）の実施</p>																																							
成 果	<p>生徒の不安や悩みの状況に応じたカウンセリングが実施されており、生徒の心の安定を図る上で効果的に機能している。また、カウンセラーと教職員との情報交換やケース会議等を通じて、学校内で連携が取られ、心の問題を抱える生徒に対して適時な対応を行うことができた。特に支援が必要な生徒については、カウンセラー・教育相談係・養護教諭・担任等との連携により、本人及び保護者に対するアドバイス等を行うことで成果が上がっている。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>220件</td> <td>244件</td> <td>245件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>305人</td> <td>342人</td> <td>314人</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>H23相談人数内訳</th> <th>生 徒</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>女子高校</td> <td>55人</td> <td>76人</td> <td>5人</td> <td>136人</td> </tr> <tr> <td>女子商業高校</td> <td>66人</td> <td>110人</td> <td>2人</td> <td>178人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>121人</td> <td>186人</td> <td>7人</td> <td>314人</td> </tr> </table> <p>※ 生徒の相談内容は、多い順に、「学校生活」、「家族関係」、「人間関係・友人関係」である。  ※ 教職員の相談件数は、「情報交換」が119件、「震災関係」が1件、合計120件である。  ※ 「震災関係」の相談件数は、生徒6件、教職員1件、保護者2件、合計9件である。</p>								主な指標項目	H21	H22	H23	相談件数	220件	244件	245件	相談人数	305人	342人	314人	H23相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計	女子高校	55人	76人	5人	136人	女子商業高校	66人	110人	2人	178人	計	121人	186人	7人	314人
主な指標項目	H21	H22	H23																																					
相談件数	220件	244件	245件																																					
相談人数	305人	342人	314人																																					
H23相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計																																				
女子高校	55人	76人	5人	136人																																				
女子商業高校	66人	110人	2人	178人																																				
計	121人	186人	7人	314人																																				
成果に係る評価	<p>多感な時期にある高校生は心にかかえる悩みも多く、カウンセリングによって支えられる部分も大きい。生徒の心を安定させ、落ち着いた学校生活を送らせるためには、カウンセラーによる相談体制を維持することが重要である。特に、震災関係の相談件数が増加することが予想され、ハイスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。</p>																																							
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	1,889,000	1,885,180			1,885,180																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																							
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																							
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																							
小 事 業	いじめ・生徒指導問題対策費																													
事 業 名	いじめ・生徒指導問題対策事業																													
目的及び事業内容	<p>いじめや不登校、その他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期解決を図る。</p> <p>1 いじめ生徒指導問題対策委員会の実施  2 いじめの防止や解決にかかる研修会の実施  3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布  4 「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」の実施</p>																													
取 組 実 績	<p>1 いじめ・生徒指導問題対策委員会の実施  市内の生徒指導上の諸問題について、19名の委員が3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。</p> <p>2 いじめ・生徒指導問題対策にかかる研修会の実施  (1) 生徒指導上の課題である不登校問題に対応するため、市内教職員・保護者を対象に講演会を実施した。  (2) 不登校児童生徒の増加に伴い、小・中学校の生徒指導担当者・養護教諭等を対象にして、市内の実態把握に努めるとともに、事例をもとに話し合いを行い、関係機関担当者から助言等受けることにより、各校での不登校対策の取り組みに活かすための研修会を3回実施した。</p> <p>3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布  いじめ防止標語（小・中・高）、いじめ防止メッセージ（中・高）を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。</p> <p>4 「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」については、震災の影響により実施できなかった。</p>																													
成 果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">いじめの件数</td> <td>小 学 校</td> <td>4件</td> <td>26件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>15件</td> <td>18件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>高 校</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>21件</td> <td>44件</td> <td>26件</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目		H21	H22	H23	いじめの件数	小 学 校	4件	26件	10件	中 学 校	15件	18件	15件	高 校	2件	0件	1件	計	21件	44件	26件
主な指標項目		H21	H22	H23																										
いじめの件数	小 学 校	4件	26件	10件																										
	中 学 校	15件	18件	15件																										
	高 校	2件	0件	1件																										
	計	21件	44件	26件																										
成果に係る評価	<p>いじめの発生件数は、小学校で減少しているが、中学校では横ばい状態であり、いじめ問題は、依然として憂慮すべき状況にあり、本事業の中で全市的な取り組みを推進することが大切と考える。</p> <p>平成23年度は震災の影響により「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」は開催できなかった。今後は各中学校において、サミット参加生徒を中心として、生徒会等の自主的、自治的な活動の中でいじめ予防のための具体的な取り組みを開始するなど、意識を高めていく予定である。</p> <p>いじめ防止標語・心のメッセージ集は道徳や学活の授業などで活用されており、児童・生徒への啓発に役立っている。</p>																													
予算の執行状況	(単位：円)																													
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	614,000	386,659				386,659																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																	
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																	
小 事 業		適応指導教室運営費																						
事 業 名		適応指導教室運営事業																						
目的及び事業内容		<p>不登校児童生徒個々の実態等に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。</p> <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p>																						
取 組 実 績		<p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携</p> <p>通所児童生徒や保護者との定期的教育相談を行ったほか、機会をとらえての相談等も行って悩み等に受容的に対応した。</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導</p> <p>(1) 通所児童生徒一人ひとりの実態や学年を踏まえ、適切な教材を準備し、個に応じた指導・支援を行った。</p> <p>(2) 在籍校との連携を深め、学級担任との連絡を密に行ったほか、適応指導教室での定期考査受験や学校で使用しているプリントでの学習などにより、帰属感の育成を図った。</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p> <p>絵手紙教室、東北歴史博物館の見学や花器づくり、調理実習、清掃活動等の体験活動を通して、仲間とともに活動する楽しさや成就感を味あわせた。</p>																						
成 果		<p>教育相談活動や学習活動、体験活動の充実、保護者や学校との連携強化により、児童生徒の再登校への意欲を高め、一定の成果をあげている。</p> <p>しかし、適応指導教室通所児童生徒の状況は個々によって多様であり、再登校に向けての糸口を見つけることは難しくなっている。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数</td> <td>90件</td> <td>78件</td> <td>77件</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の再登校率</td> <td>22.2%</td> <td>18.1%</td> <td>18.1%</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)</td> <td>70.0%</td> <td>81.8%</td> <td>54.5%</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H21	H22	H23	不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	90件	78件	77件	通所児童生徒の再登校率	22.2%	18.1%	18.1%	通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	70.0%	81.8%	54.5%
主な指標項目	H21	H22	H23																					
不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	90件	78件	77件																					
通所児童生徒の再登校率	22.2%	18.1%	18.1%																					
通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	70.0%	81.8%	54.5%																					
成果に係る評価		<p>平成23年度の不登校児童生徒が小・中合わせて210人となり、不登校状態が長期に及ぶケースも少なくない。各学校で改善の努力はしているが、指導が困難な事例も多く、不登校児童生徒の減少には至っていないことから、専門的な対策チームを構成して本人や家庭に積極的に働きかける必要がある。</p> <p>そのため、適応指導教室を基盤とし、市民相談センター相談員、不登校対応相談員、スクールソーシャルワーカー、青少年育成員、いじめ・生徒指導問題対策委員会委員、民生委員・児童委員協議会委員らをメンバーとする市立小・中学校不登校児童生徒対応協議会を設置し、対策に当たっていききたい。</p>																						
予算の執行状況		(単位：円)																						
		予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
4,773,000	4,417,446			79,000	4,338,446																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																												
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( 1 )	未来の人を育てる																																												
	3 目	教育指導奨励費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( 3 )	子どものケアの実施																																												
小 事 業		スクールカウンセラー配置事業費																																																		
事 業 名		スクールカウンセラー配置事業																																																		
目的及び事業内容		<p>カウンセラーの相談活動により、生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 スクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員・学区内小学生等の要望に応じたカウンセリングの実施 3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施</p>																																																		
取 組 実 績		<p>1 スクールカウンセラーの配置 中学校全21校に配置（臨床心理士13人、臨床心理士に準ずる者8人）</p> <p>2 カウンセリングの実施状況 (1) 中学校 年間23～38日、小学校 年間1～13日 (2) 1日のカウンセリング実施時間（県で決定） 6時間</p> <p>3 カウンセリング研修等の実施 各学校で研修日を設定して実施 （内容）カウンセリング実技研修、カウンセリング理論、エンカウンター実習など</p>																																																		
成 果		<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th>主な指標項目</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th></tr> <tr><td>相談件数</td><td>3,206件</td><td>3,514件</td><td>3,631件</td></tr> <tr><td>相談人数</td><td>4,149人</td><td>3,972人</td><td>4,094人</td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th colspan="2">H23相談人数割合</th></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>50.1%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>29.7%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>20.2%</td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><th>H23主な相談内容</th><th>生徒</th><th>児童</th><th>計</th></tr> <tr><td>学校生活</td><td>379件</td><td>86件</td><td>465件 (12.8%)</td></tr> <tr><td>学校不適應</td><td>122件</td><td>17件</td><td>139件 (3.8%)</td></tr> <tr><td>人間関係</td><td>264件</td><td>100件</td><td>364件 (10.0%)</td></tr> <tr><td>進路</td><td>155件</td><td>13件</td><td>168件 (4.6%)</td></tr> <tr><td>家族</td><td>189件</td><td>83件</td><td>272件 (7.5%)</td></tr> </table>							主な指標項目	H21	H22	H23	相談件数	3,206件	3,514件	3,631件	相談人数	4,149人	3,972人	4,094人	H23相談人数割合		児童生徒	50.1%	教職員	29.7%	保護者	20.2%	H23主な相談内容	生徒	児童	計	学校生活	379件	86件	465件 (12.8%)	学校不適應	122件	17件	139件 (3.8%)	人間関係	264件	100件	364件 (10.0%)	進路	155件	13件	168件 (4.6%)	家族	189件	83件	272件 (7.5%)
主な指標項目	H21	H22	H23																																																	
相談件数	3,206件	3,514件	3,631件																																																	
相談人数	4,149人	3,972人	4,094人																																																	
H23相談人数割合																																																				
児童生徒	50.1%																																																			
教職員	29.7%																																																			
保護者	20.2%																																																			
H23主な相談内容	生徒	児童	計																																																	
学校生活	379件	86件	465件 (12.8%)																																																	
学校不適應	122件	17件	139件 (3.8%)																																																	
人間関係	264件	100件	364件 (10.0%)																																																	
進路	155件	13件	168件 (4.6%)																																																	
家族	189件	83件	272件 (7.5%)																																																	
成果に係る評価		<p>配置校の生徒・保護者・教職員からの相談に対応することで、積極的な生徒指導の推進に資することから継続していく必要がある。また、震災後の心のケアの面からも、カウンセラーによる相談体制の充実を図っていくことが重要である。</p>																																																		
（単位：円）																																																				
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																													
		573,000	396,393				396,393																																													



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
小 事 業	特別支援教育事業費（緊急総合経済対策分）							
事 業 名	特別支援教育支援員配置事業 [住民生活]							
目的及び事業内容	<p>通常の学級に在籍している発達障害を持つ児童の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に支援員を配置する。</p> <p>1 小学校へ支援員の配置</p> <p>2 当該児童への支援の工夫</p>							
取 組 実 績	<p>1 支援員の配置状況 市内小学校 26校に配置 石巻小、住吉小、門脇小、湊小、湊第二小、釜小、山下小、蛇田小、渡波小、稲井小、向陽小、貞山小、開北小、万石浦小、大街道小、中里小、鹿妻小、飯野川第一小、大谷地小、雄勝小、広瀬小、須江小、和瀬小、鹿又小、中津山第二小、谷川小</p> <p>2 通常学級における当該児童への支援 通常学級に在籍する、知的障害、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症、選択的緘黙、ダウン症等の子どもたちへの学習・生活支援をすることで、担任教員の指導補助を行った。各学校では、学級や個人への支援のあり方について研修するなどして、支援員の活用を工夫した。</p> <p>3 特別支援教育支援員研修会の実施 分科会に分かれて、日常支援の様子等について情報交換をした。</p>							
成 果	<p>特別な支援を必要とする子どもの実情等に応じた学習・生活指導についての充実が図られた。また、支援対象児童の保護者から、「支援が充実したことで安心できる、感謝している」という声が多く寄せられている。</p> <p>また、研修会を実施したことによっていろいろな学校の情報を得ることができ、支援員にとっては有意義な研修会になった。</p>							
成果に係る評価	<p>特別支援教育の転換により、通常学級における特別な支援の充実が求められていることから、特別支援教育支援員の存在は、障害をもつ児童生徒への支援や学級への学習指導等の充実につながるなど、大きな成果をあげている。学校や保護者から、事業拡充を望む声も大きいことから、今後配置拡充が必要である。</p>							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	20,609,000		20,456,356				20,456,356	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	教育総務費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる
	3 目	教育指導奨励費		( )		( 3 )	子どものケアの実施

小 事 業	スクールソーシャルワーカー配置事業費
-------	--------------------

事 業 名	スクールソーシャルワーカー配置事業
-------	-------------------

目的及び事業内容	<p>小中学校における相談体制や関係機関との連携体制の充実を図り、不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題行動の早期対応や早期解決を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 問題を抱える児童生徒が置かれた環境（家庭や学校等）への面談などの働き掛けを行う。</li> <li>2 児童相談所などの関係諸機関とのネットワークの構築と連携や調整に努める。</li> <li>3 市内小中学校における校内での支援体制やチーム体制の整備の支援を行う。</li> <li>4 市内小中学校の教職員・保護者への相談や研修会等での啓発活動・情報提供に努める。</li> </ol>
----------	--

取 組 実 績	<p>スクールソーシャルワーカーについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 スクールソーシャルワーカーは3名が配置されており、児童生徒や家庭の状況を踏まえ、ケースごとに児童相談所や市民相談センターなどの関係機関と連携して対応している。 また、震災後の児童生徒のケアについても、学校に配置されているスクールカウンセラーと連携することはもとより、児童精神科医とも連携しており、専門的な見地から適切な対応がなされるよう働き掛けしている。</li> </ol> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">○配置状況(平成24年3月末現在) 3名配置</td> </tr> <tr> <td>拠点校</td> <td>勤務時間、日数</td> </tr> <tr> <td>門脇小・大川小</td> <td>1日 6時間、週3日</td> </tr> <tr> <td>向陽小・青葉中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>稲井中</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> </table> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 訪問活動：学校86、家庭74 ケース会：14件19回 連携した教職員：185件 連携した機関：児童相談所24、医療24（学校の要請に応じて対応している。）</li> </ol>	○配置状況(平成24年3月末現在) 3名配置		拠点校	勤務時間、日数	門脇小・大川小	1日 6時間、週3日	向陽小・青葉中	1日 6時間、週2日	稲井中	1日 6時間、週1日
○配置状況(平成24年3月末現在) 3名配置											
拠点校	勤務時間、日数										
門脇小・大川小	1日 6時間、週3日										
向陽小・青葉中	1日 6時間、週2日										
稲井中	1日 6時間、週1日										

成 果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スクールソーシャルワーカーの仕事内容が学校及び関係機関に理解され、連携がスムーズになった。</li> <li>2 問題を抱える児童生徒の家庭訪問等を行い、少しずつ登校できるようになった。</li> <li>3 震災の影響で子どもに目を向ける余裕のない保護者の話をじっくり聞くことにより、気持ちの余裕が出てきた。</li> <li>4 教員に対してコンサルテーションを行うことにより、教員の悩みを共有することができた。</li> <li>5 スクールソーシャルワーカーを3名配置することにより、これまでできなかった様々なケースにも対応できた。</li> </ol> <p>○支援対象児童生徒数</p> <table border="1"> <tr> <td>主な指標項目</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>11人</td> <td>14人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>3人</td> <td>6人</td> <td>21人</td> </tr> </table> <p>○相談内容</p> <table border="1"> <tr> <td>相談内容</td> <td>件数</td> <td>問題が解決</td> <td>支援中で好転</td> <td>支援中</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>不登校</td> <td>27件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>21件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>暴力、非行・不良行為</td> <td>18件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>9件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>児童虐待</td> <td>6件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>5件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>家庭環境の問題</td> <td>25件</td> <td>0件</td> <td>6件</td> <td>13件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </table>	主な指標項目	H21	H22	H23	小学生	11人	14人	23人	中学生	3人	6人	21人	相談内容	件数	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他	不登校	27件	3件	3件	21件	0件	暴力、非行・不良行為	18件	1件	2件	9件	6件	児童虐待	6件	0件	1件	5件	0件	家庭環境の問題	25件	0件	6件	13件	6件	その他	1件	1件	0件	0件	0件
主な指標項目	H21	H22	H23																																														
小学生	11人	14人	23人																																														
中学生	3人	6人	21人																																														
相談内容	件数	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他																																												
不登校	27件	3件	3件	21件	0件																																												
暴力、非行・不良行為	18件	1件	2件	9件	6件																																												
児童虐待	6件	0件	1件	5件	0件																																												
家庭環境の問題	25件	0件	6件	13件	6件																																												
その他	1件	1件	0件	0件	0件																																												

成果に係る評価	<p>不登校、暴力行為をはじめとする問題行動等や家庭環境に起因する様々な問題、また、震災後の心のケアに資する問題等、スクールソーシャルワーカーが対応する問題は多岐にわたる。学校だけでは解決できない問題をスクールソーシャルワーカーが介入することによって、児童生徒、保護者、教職員それぞれが助けられている。スクールソーシャルワーカーの活動が理解され、学校と一体となって問題に対応するようになってきている。</p>
---------	--

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,447,000	2,428,341	2,428,341			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	3 目	教育指導奨励費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )	
小 事 業	学習支援室システム整備事業費							
事 業 名	学習支援室システム整備事業							
目的及び事業内容	<p>障害のある生徒が通常の学級に在籍して学習するための指導・支援を行う校内支援システムの構築を図る。</p> <p>1 当該生徒の実情に応じた個別の指導計画の作成</p> <p>2 個別の指導計画による教育の実施</p>							
取 組 実 績	<p>1 当該生徒の実情等に応じた個別の指導計画の作成 生徒の変容等に応じ、交流の在り方などを工夫した指導計画を作成し、共通理解を図った。</p> <p>2 個別の指導計画による教育の実施</p> <p>(1) 通常の学級における教科等の指導</p> <p>(2) 学習支援室における自立活動等の指導</p> <p>(3) その他学年学級行事等への参加</p>							
成 果	<p>1 授業での交流や休み時間等のかかわりの中で、周囲の生徒からの声かけや働きかけが当該生徒を望ましい形で刺激しており、笑顔が出たり元気になるといった影響を与えている。</p> <p>2 通常学級在籍の生徒と保護者の障害への理解が深まり、「共に生きる」社会実現に向けた基盤づくりにつながっている。</p> <p>3 学校におけるコーディネーターを中心とした特別支援教育体制の構築や関係諸機関とのネットワーク化が推進されている。また、校内での特別支援教育に関する研修が推進され、一人ひとりを大切に、思いやりの心を育む指導の充実に結び付いている。</p>							
成果に係る評価	<p>具体的な改革や改善策は該当生徒と接している担当や看護師、保護者の要望も踏まえて、所属学校において日々考慮しながら進めている。これまでの実践を踏まえた成果の有用性が認められるので、現状の維持が大切である。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,418,000		1,417,878		708,939			708,939

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
小 事 業		石巻の学びステップアップ事業費						
事 業 名		石巻の学びステップアップ事業						
目的及び事業内容		<p>石巻市立小・中学校長会と連携し、児童生徒一人一人の「確かな学力」の育成と学力の向上を図る。</p> <p>1 学力向上推進委員会の設置 「授業改善」、「家庭学習支援」の具体的方策について検討し、事業を行う。</p> <p>2 小・中学校校長会との連携 支会校長会ごとに本事業の目的達成のための計画を立て実践する。</p> <p>3 学力向上推進地区連絡協議会の設置 各地区の取り組み内容について情報交換し、より効果的な方策を検討する。</p>						
取 組 実 績		<p>1 学力向上推進委員会 (1) 被災後の学校の学習状況や家庭環境等について、地区ごとに実態を把握するとともに、石巻の教育活動の方向性等について共通理解を図ることができた。 (2) 家庭用ポスター『家庭学習と生活習慣 5つのトライ! 「い・し・の・ま・き」』の確認と取り組みの継続を呼びかけた。 (3) 学校と家庭の連携による望ましい生活習慣や家庭学習習慣の形成についての調査を行い、被災後の児童生徒の状況を把握すると共に、志教育の実態を次年度の事業計画に生かした。</p> <p>2 学力向上推進地区 (1) 保護者や他校教職員を対象とした公開授業を、全ての学力向上推進地区10地区で実施した。 (2) 小・中学校合同による研修会や講演会、授業研究会を全地区で実施した。</p>						
成 果		<p>1 小学校と中学校が合同で研修会や授業研究会を実施し、小・中連携の推進が見られた。</p> <p>2 事業実施手法等の工夫により、より専門性の高い講師による研修会を実施する地区が増え、研修の充実を図ることができた。</p> <p>3 各推進地区で作成した家庭学習カードの活用を通して、学校と家庭が連携する必要性について啓発が図られた。</p> <p>4 被災によって連携事業が困難となった学校が多かったが、それぞれ工夫して校区にとらわれない連携を行った。</p>						
成果に係る評価		<p>各地区の事業報告から推察すると、教職員の教科指導力の向上や小・中連携の推進については一定の成果があると思われるが、生活習慣や家庭学習習慣の形成については、被災前の状況に早く戻すことを第一に考え、家庭との連携の在り方を工夫しながら取り組みを継続していく必要がある。また、家庭学習の手引きなど、作成したものをさらに有効に活用することや、小・中学校での9年間を見通した教育実践を進めていく必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		4,000,000	2,801,210				2,801,210	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のための伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	教育総務費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる
	7 目	東日本大震災関係費		( )		( 3 )	子どものケアの実施
小 事 業	防災教育充実事業費（東日本大震災関係分）						
事 業 名	防災教育充実事業						
目的及び事業内容	<p>地域ぐるみの防災教育の実践を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心、安全な地域環境づくりを進めるとともに、教材等の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応能力の育成を促進する。</p> <p>1 地域ぐるみの防災教育の推進 2 児童生徒の災害対応能力の育成のための学校教材等の作成</p>						
取 組 実 績	<p>1 学校防災推進会議の設置と協議 学校、関係機関、市担当部局、学識経験者による学校防災推進会議を設置し、東日本大震災における学校防災の検証と、これからの在り方について協議を行った。協議結果を基に、各機関において、今後の学校や地域の連携及び関係機関の協力について検討し、実践を図ることとした。また、平成24年度においても学校防災推進会議を設置し、学校防災の充実を図る予定である。</p> <p>2 防災教育副読本（上巻）の編集 本市の実態に即した防災教育推進のための、防災教育副読本を作成することとし、防災教育副読本編集委員会を設置した。発達段階に応じた防災教育が実践できるよう、平成24年度第1学期に、小学校下学年、小学校上学年、中学校用の上巻を発行することとし、編集作業を行った。</p>						
成 果	<p>学校防災について、関係者が一堂に会して、これまでの課題や今後の取組について話し合うことにより、協働して学校防災の充実に取り組む態勢づくりを進めることができた。</p> <p>また、防災教育副読本を平成24年度第1学期に発行する見通しが立ち、今後は本市の実態に即した防災教育の実践を促すことができる。</p>						
成果に係る評価	<p>学校防災推進会議等により、学校と地域の合同避難訓練の実施等を働きかけ、学校と地域の連携による学校防災の充実を図る必要があるほか、防災教育副読本を活用して、児童生徒の防災対応能力の育成を図る必要がある。</p> <p>また、今後は防災教育副読本上巻の評価を行い、下巻の編集及び発行を実施していく。</p>						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	151,420	151,420			151,420		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																						
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																						
	1 目	学校管理費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																						
小 事 業	小学校管理費（教育総務課）																																												
事 業 名	遠距離通学支援事業（小学校）																																												
目的及び事業内容	<p>遠距離通学の対象となる全ての児童に対し、公共交通機関やスクールバスの活用を促すことにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス等の運行</li> <li>・遠距離通学費補助金の交付</li> </ul>																																												
取 組 実 績	<p>遠距離通学の対象者のスクールバス、ボートの活用及び公共交通機関を活用した児童への、交通費の助成を行った。</p> <p>1 スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス</td> <td>H22</td> <td>10校</td> <td>289人</td> <td>40,258,840円</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>10校</td> <td>334人</td> <td>40,009,346円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールボート</td> <td>H22</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>1,330,360円</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>642,518円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 遠距離通学費補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学費補助金</td> <td>H22</td> <td>4校</td> <td>86人</td> <td>2,961,653円</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>4校</td> <td>80人</td> <td>2,294,960円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	年度	学校数	対象人数	金額	スクールバス	H22	10校	289人	40,258,840円	H23	10校	334人	40,009,346円	スクールボート	H22	1校	1人	1,330,360円	H23	1校	1人	642,518円	区分	年度	学校数	対象人数	金額	遠距離通学費補助金	H22	4校	86人	2,961,653円	H23	4校	80人	2,294,960円
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																									
スクールバス	H22	10校	289人	40,258,840円																																									
	H23	10校	334人	40,009,346円																																									
スクールボート	H22	1校	1人	1,330,360円																																									
	H23	1校	1人	642,518円																																									
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																									
遠距離通学費補助金	H22	4校	86人	2,961,653円																																									
	H23	4校	80人	2,294,960円																																									
成 果	<p>学校統廃合などにより遠距離通学となった児童へスクールバス等の運行や公共交通機関の利用を促すことで、登下校の安全の確保が図られた。</p>																																												
成果に係る評価	<p>遠距離通学児童の安全・安心を図るため継続が必要な事業であるが、地域の実情を考慮しつつ、適正な運行を模索していく必要がある。</p>																																												
予算の執行状況	（単位：円）																																												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																							
44,719,000	42,946,824	8,421,877			34,524,947																																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )			
	2 項	小学校費		第 3 節	新たな時代を想像する人材を育成する		( )			
	1 目	学校管理費		( 1 )	広い視野を持つ人材をはぐくむ		( )			
小 事 業	小学校管理費（学校教育課）									
事 業 名	小学校外国語活動指導補助員モデル活用事業									
目的及び事業内容	小学校学習指導要領の改訂により、小学校第5学年及び第6学年に外国語活動が新設され、平成23年度から全面実施されたことにより、小学校に外国語活動指導補助員を配置し、小学校外国語活動の課題等の整理及び検証を行う。									
取 組 実 績	小学校外国語活動指導補助員による外国語活動 補助員8名を、希望のあった30校に配置し、1クラス当たり年間25時間の外国語活動を行った。									
成 果	1 児童の興味・関心の向上 (1) 外国語に堪能な補助員の英語での指示や会話を聞かせることにより、児童の外国語への興味・関心を高めることができた。 (2) 担任と補助員が英語でデモンストレーションを行うことで、よりイメージを膨らませ外国語活動に意欲的に取り組ませることができた。 2 コミュニケーション能力の向上 補助員の支援により、児童の発音やコミュニケーション能力を高める手法として有効であった。 3 担任の負担軽減 外国語活動を指導する担任教師に対し、指導補助員が適切にアドバイスをしており、安心して指導に当たることができることにより、担任の負担軽減につながった。									
成果に係る評価	本年度より、小学校5・6年生において年間35時間の外国語活動が義務付けられ、実施された。事業成果により、指導補助員の活用は効果的な指導方法であることは間違いない。次のような課題を解決しながら、今後もより良い事業を目指して推進していく。 1 担任と補助員との打ち合わせ時間の確保 2 補助員が勤務する曜日が固定されているため、行事等で授業が変更になった場合に、代替時間の確保が難しい。 3 市内42小学校への配置のための人材の確保、ALTの活用と関連させた配置計画									
予算の執行状況	(単位：円)									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
4,293,000	2,435,250							2,435,250		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )											
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )											
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )											
小 事 業	小学校保健費																	
事 業 名	学校医・薬剤師配置事業（小学校）																	
目的及び事業内容	<p>各学校に学校医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、児童に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医の配置</li> <li>・学校薬剤師の配置</li> </ul>																	
取 組 実 績	<p>1 学校医の配置 市立小学校43校に、学校医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や就学時健康診断の健診業務を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校医の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>31 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>4 人</td> </tr> <tr> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>歯 科 医</td> <td>32 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 市立小学校43校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校薬剤師の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>20 人</td> </tr> </table>								内 科 医	31 人	眼 科 医	4 人	耳 鼻 科 医	5 人	歯 科 医	32 人	薬 剤 師	20 人
内 科 医	31 人																	
眼 科 医	4 人																	
耳 鼻 科 医	5 人																	
歯 科 医	32 人																	
薬 剤 師	20 人																	
成 果	<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、児童の健全育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>2 学校施設における日常点検や定期検査の実施等により、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>																	
成果に係る評価	<p>児童に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。ただ、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の学校医を兼務している実態もあることから、対応策について検討し、今後も学校への医師派遣事業を継続する必要がある。</p>																	
予算の執行状況	（単位：円）																	
	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源												
33,517,000	31,722,660	498,000			31,224,660													



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																									
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																									
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																									
小 事 業		小学校保健費																														
事 業 名		健康診断・検査等実施事業（小学校）																														
目的及び事業内容		<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、児童の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																														
取 組 実 績		<p>1 児童の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、結核健診、心臓病健診、就学時健診、尿検査、寄生虫卵検査 定期健康診断については全学年、心臓病健診については、対象学年である1年生及び4年生に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 小学校各校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>																														
成 果		<p>定期健康診断を行い、児童の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し健康管理に努めた。また、学校の水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 定期健康診断</td> <td>小学生</td> <td>7,972人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>心臓病健診</td> <td>1年生</td> <td>1,201人</td> <td>4年生</td> <td>1,375人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 飲料水水質検査</td> <td>小学校</td> <td>32校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							1 定期健康診断	小学生	7,972人						心臓病健診	1年生	1,201人	4年生	1,375人				2 飲料水水質検査	小学校	32校					
1 定期健康診断	小学生	7,972人																														
心臓病健診	1年生	1,201人	4年生	1,375人																												
2 飲料水水質検査	小学校	32校																														
成果に係る評価		<p>児童の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方について、検討していく必要がある。</p>																														
予算の執行状況		(単位：円)																														
		予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
15,279,900	12,941,512	20,000			12,921,512																											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
小 事 業	小学校保健費							
事 業 名	就学時健康診断実施事業							
目的及び事業内容	就学予定児に対して、あらかじめ健康診断を行うことにより、健康状況を把握しつつ、学校保健上必要な助言・指導を行うことを目的としている。							
取 組 実 績	1 児童の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、視力検査、聴力検査を実施した。							
成 果	<p>学校保健安全上、必要な助言・指導を行うことにより、小学校等への円滑な就学が促進され、義務教育の適正な推進が図られた。</p> <p>1 就学時健康診断 1,114人</p>							
成果に係る評価	<p>就学時健康診断は学校保健安全法第11条の規定に基づき、次年度入学児を対象として10月から11月に実施している。</p> <p>当該健診は、旧市内については、各就学予定学校、旧町については、旧町単位で集約し、内科、眼科、耳鼻科、歯科の健診及び視力、聴力検査を実施しているが、少子化や東日本大震災による就学予定児の減少や専門医確保の問題等を踏まえ、複数の小規模校における合同実施等、状況に応じた対応が必要である。</p>							
予算の執行状況	(単位：円)							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
5,029,900	4,225,300					4,225,300		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )	
小 事 業	小学校教育用コンピューター関係費							
事 業 名	情報教育環境整備事業（小学校）							
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内小学校の教育用コンピューター及び周辺機器の更新及び賃貸借（購入又はリース）							
取 組 実 績	小学校教育用コンピューター整備状況							
	整備年度		整備内容					
	H19		石巻地区19校：普通教室及びP C教室に計350台整備 雄勝地区3校：普通教室及びP C教室に計29台整備 河南地区1校：普通教室及びP C教室に計15台整備 北上地区2校：普通教室及びP C教室に計18台整備					
	H21		河北地区5校：普通教室及びP C教室に計86台整備 桃生地区3校：普通教室及びP C教室に計56台整備					
	H22		河南地区6校：普通教室及びP C教室に計127台整備 牡鹿地区4校：普通教室及びP C教室に計42台整備					
	※ 平成20年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。 ※ 平成21年度については、緊急経済対策事業で実施 ※ 平成23年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。							
成 果	・児童がITの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。							
成果に係る評価	市内小学校の教育用コンピューターについては、文部科学省の整備基準（児童3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、本市の現状に促した有効的な整備内容を考察しながら、計画的に整備する。 近年は購入による整備が進んでいることから、機器整備後の維持補修負荷が増大しており、今後の管理方法等を検討し、事務効率の向上を図りたい。							
予算の執行状況	（単位：円）							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
25,063,000	24,564,051				24,564,051			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																				
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																				
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																				
小 事 業	小学校教育振興援助費																										
事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）																										
目的及び事業内容	<p>経済的な事情により就学が困難な児童の保護者に対し就学費の助成を行うとともに、特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し就学奨励費の助成を行うことにより、教育機会の均等な提供に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費の助成</li> <li>・特別支援教育就学奨励費の助成</li> </ul>																										
取 組 実 績	1 就学援助費 助成		認定者数 961名		<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>10,524,610 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>774,636 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>329,396 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>6,640 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>1,889,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>2,295,456 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>32,610,742 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>627,110 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>49,057,590 円</td></tr> </table>				学用品費	10,524,610 円	校外活動費（泊無し）	774,636 円	校外活動費（泊付き）	329,396 円	通学費	6,640 円	新入学用品費	1,889,000 円	修学旅行費	2,295,456 円	給食費	32,610,742 円	医療費	627,110 円	計	49,057,590 円	
	学用品費	10,524,610 円																									
校外活動費（泊無し）	774,636 円																										
校外活動費（泊付き）	329,396 円																										
通学費	6,640 円																										
新入学用品費	1,889,000 円																										
修学旅行費	2,295,456 円																										
給食費	32,610,742 円																										
医療費	627,110 円																										
計	49,057,590 円																										
2 特別支援教育就学奨励費 助成		認定者数 55人		<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>351,878 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>21,567 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>4,165 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>344,396 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>99,500 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>67,750 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>1,096,770 円</td></tr> <tr><td>交流学习交通費</td><td>14,742 円</td></tr> <tr><td>ことばの教室</td><td>100,395 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,101,163 円</td></tr> </table>				学用品費	351,878 円	校外活動費（泊無し）	21,567 円	校外活動費（泊付き）	4,165 円	通学費	344,396 円	新入学用品費	99,500 円	修学旅行費	67,750 円	給食費	1,096,770 円	交流学习交通費	14,742 円	ことばの教室	100,395 円	計	2,101,163 円
学用品費	351,878 円																										
校外活動費（泊無し）	21,567 円																										
校外活動費（泊付き）	4,165 円																										
通学費	344,396 円																										
新入学用品費	99,500 円																										
修学旅行費	67,750 円																										
給食費	1,096,770 円																										
交流学习交通費	14,742 円																										
ことばの教室	100,395 円																										
計	2,101,163 円																										
成 果	<p>経済的に就学困難な児童の保護者へ学校で必要となる経費を援助することにより、義務教育を円滑に実施することができた。</p> <p>また、特別支援学級へ通う児童の保護者へ必要な経費を援助することにより、経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図ることができた。</p>																										
成果に係る評価	<p>経済的に就学困難な家庭や、特別支援学級に通級する児童の保護者へ経済的に支援することにより、児童の就学を確保し円滑な義務教育を図ることができることから、今後も継続していく必要のある事業である。</p> <p>ただし、経済情勢が厳しいことを踏まえて、今後は認定基準や支給基準について、その状況に応じ柔軟に対応することが必要である。</p>																										
（単位：円）																											
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																						
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																			
	56,475,000		51,185,753		870,000			50,315,753																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )									
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )									
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )									
小 事 業	小学校図書整備事業費、小学校図書整備事業費（緊急総合経済対策分）															
事 業 名	学校図書整備事業（小学校）〔住民生活〕															
目的及び事業内容	<p>全国的な傾向である小学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成19年度から平成23年度まで「新学校図書館図書整備5カ年計画」に基づき整備を推進した。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小学校の学校図書を整備するもの。</p> <p>平成23年度末には、当面の整備目標である、市内全ての小学校が「学校図書館図書標準」の充足率50%以上となることを目標とし、整備を実施した。</p>															
取 組 実 績	<p>震災のため一部の学校で蔵書が流失した影響から、当面の整備目標（市内全ての小学校において学校図書館標準書数に対する充足率50%以上）は達成されなかった。しかし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入のほか厚意の図書寄贈により、取得冊数は大幅に増加した。</p> <p>&lt;小学校図書の整備冊数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,438冊</td> <td>9,072冊</td> <td>10,009冊</td> <td>32,143冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄附・寄贈含む（緊急経済対策事業による購入冊数も含む。）。</p>								H20	H21	H22	H23	6,438冊	9,072冊	10,009冊	32,143冊
H20	H21	H22	H23													
6,438冊	9,072冊	10,009冊	32,143冊													
成 果	<p>学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、児童生徒が自ら進んで言葉を学び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。また上記の取組実績により、市内小学校の平均充足率は前年度を越える成果となった。</p> <p>&lt;小学校図書の充足率&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>66.04%</td> <td>67.54%</td> <td>70.84%</td> <td>76.59%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成23年度末での充足率50%の達成校 37校</p> <p>※ 数値は市内小学校の平均である。</p>								H20	H21	H22	H23	66.04%	67.54%	70.84%	76.59%
H20	H21	H22	H23													
66.04%	67.54%	70.84%	76.59%													
成果に係る評価	<p>学校図書を学習活動に積極的に活用し、学習効果の向上を図るには、児童生徒の課題解決に沿った図書が整備充実され、いつでも気軽に利用できるような環境を整えることが必要である。学校図書整備はその基本となる事業であり、今後とも読書環境の整備に努めたい。</p>															
予算の執行状況	（単位：円）															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源										
14,585,059	14,265,285			7,298,048	6,967,237											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )			
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )			
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )			
小 事 業	山下小学校空気調和設備機器等機能復旧事業費									
事 業 名	山下小学校空気調和設備機器等機能復旧事業									
目的及び事業内容	山下小学校の空気調和設備機器は、昭和58、59年度に暖房機をそれぞれ1基ずつ設置したものであるが、老朽化によりメンテナンスによる維持管理が困難になっていることや防衛省で定める耐用年数を超過するため、暖房機の更新を計画するにあたり、機能調査を実施した。									
取 組 実 績	空気調和設備機器2基の機能調査を実施した。 <b>【調査概要】</b> 1 暖房機設置 2 送風機劣化調査 3 風量測定調査									
成 果	耐用年数を大分超過していることや老朽化が進んでいることで、暖房機の機能が著しく低下していることが確認できた。									
成果に係る評価	機能調査の実施により、今後計画的な空気調和設備機器の更新を実施していく。									
予算の執行状況	(単位：円)									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
1,000,000	808,500							808,500		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	2 項	小学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興

小 事 業	小学校管理費（東日本大震災関係分・教育総務課）
-------	-------------------------

事 業 名	通学支援事業（小学校）
-------	-------------

目的及び事業内容	<p>東日本大震災の被災により遠距離通学となる児童に対し、安全、安心に通学できる環境を提供することを目的とし、スクールバス運行による通学支援や公共交通機関利用に係る負担額への助成を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被災した学校の学区から間借り校又は仮設校舎までスクールバスの運行を実施する。</li> <li>通学路の安全対策として、公共交通機関の利用に対する助成やスクールバスの運行を実施する。</li> </ul>
----------	---

取 組 実 績	東日本大震災の被災により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス運行による通学支援や公共交通機関利用に係る負担額への助成を実施した。			
	（支援実績）			
	区分	学校数	対象人数	金額
	スクールバス	10校	615人	124,118,809円
	通学費補助	1校	7人	27,550円
	（支援対象学校の状況）			
	学校名	状 況		
	湊小学校	住吉中学校へ間借り		
	湊第二小学校	仮設校舎（開北小学校校庭）		
	渡波小学校	仮設校舎（稲井中学校校庭）		
	稲井小学校	南境仮設住宅入居者の稲井小学校への転入によりスクールバスを追加		
	万石浦小学校	冠水対策のためスクールバス運行、通学路安全対策のため通学費補助		
	大川小学校	飯野川第一小学校へ間借り		
	雄勝小学校	河北中学校へ間借り		
	船越小学校	宮城県石巻北高飯野川校へ間借り		
	相川小学校	橋浦小学校へ間借り		
	吉浜小学校	橋浦小学校へ間借り		

成 果	東日本大震災の被災により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス運行による通学支援や公共交通機関利用に係る負担額への助成を実施したことにより、安全、安心に通学できる環境を提供することができた。
-----	--

成果に係る評価	被災した学校の学区から間借り校又は仮設校舎へ遠距離通学となる児童の通学支援と通学路の安全対策が図られ、安全・安心に通学することができた。 今後は、被災した児童へ中・長期的な支援を行うため、学校施設や被災者の再建状況を見ながら事業を継続していく。
---------	---

予算の執行状況	（単位：円）				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国（県）支出金	地方債	その他
126,323,976	124,146,359	120,794,509			3,351,850

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる															
	2 項	小学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる															
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興															
小 事 業	小学校教育振興援助費（東日本大震災関係分）																					
事 業 名	就学援助事業（小学校）																					
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった児童の保護者に対し、就学費の助成を行うことにより、児童の就学の機会を確保する。  （支給対象者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯</li> <li>・世帯収入が著しく減少した世帯</li> </ul>																					
取 組 実 績	1 就学援助費 認定者数 2,542名																					
	助 成		<table border="1"> <tr> <td>学用品費</td> <td>31,493,270 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊無し）</td> <td>2,119,871 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊付き）</td> <td>532,240 円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>9,300 円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>7,721,200 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>6,583,292 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>99,223,327 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>147,682,500 円</td> </tr> </table>					学用品費	31,493,270 円	校外活動費（泊無し）	2,119,871 円	校外活動費（泊付き）	532,240 円	通学費	9,300 円	新入学用品費	7,721,200 円	修学旅行費	6,583,292 円	給食費	99,223,327 円	計
学用品費	31,493,270 円																					
校外活動費（泊無し）	2,119,871 円																					
校外活動費（泊付き）	532,240 円																					
通学費	9,300 円																					
新入学用品費	7,721,200 円																					
修学旅行費	6,583,292 円																					
給食費	99,223,327 円																					
計	147,682,500 円																					
成 果	東日本大震災により被災し、就学が困難となった児童に対し就学援助費を支給することにより、児童の就学の機会を確保することができた。																					
成果に係る評価	<p>国の被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金制度を活用し事業を実施しており、被災した児童への中・長期的な就学支援を行うため、今後も継続していく必要がある。  ただし、同制度は現時点では平成26年度までとされており、その後の事業実施に当たっては、認定基準や支給基準について、本市の復興状況に応じた見直しが必要となる。</p>																					
（単位：円）																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																	
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源														
	158,702,000		147,682,500		147,682,500																	



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																						
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																						
	1 目	学校管理費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																						
小 事 業	中学校管理費（教育総務課）																																												
事 業 名	遠距離通学支援事業（中学校）																																												
目的及び事業内容	<p>遠距離通学の対象となる全ての生徒に対し、公共交通機関やスクールバスの活用を促すことにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス等の運行</li> <li>・遠距離通学費補助金の交付</li> </ul>																																												
取 組 実 績	<p>遠距離通学の対象者のスクールバス、ボートの活用及び公共交通機関を活用した生徒への、交通費の助成を行った。</p> <p>1 スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス</td> <td>H22</td> <td>5校</td> <td>148人</td> <td>32,429,285円</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>5校</td> <td>94人</td> <td>31,673,220円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールボート</td> <td>H22</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>1,753,880円</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1校</td> <td>2人</td> <td>2,723,594円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 遠距離通学費補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学費補助金</td> <td>H22</td> <td>1校</td> <td>5人</td> <td>410,000円</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1校</td> <td>3人</td> <td>262,020円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	年度	学校数	対象人数	金額	スクールバス	H22	5校	148人	32,429,285円	H23	5校	94人	31,673,220円	スクールボート	H22	1校	1人	1,753,880円	H23	1校	2人	2,723,594円	区分	年度	学校数	対象人数	金額	遠距離通学費補助金	H22	1校	5人	410,000円	H23	1校	3人	262,020円
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																									
スクールバス	H22	5校	148人	32,429,285円																																									
	H23	5校	94人	31,673,220円																																									
スクールボート	H22	1校	1人	1,753,880円																																									
	H23	1校	2人	2,723,594円																																									
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																									
遠距離通学費補助金	H22	1校	5人	410,000円																																									
	H23	1校	3人	262,020円																																									
成 果	<p>学校統廃合などにより遠距離通学となった生徒へスクールバス等の運行や公共交通機関の利用を促すことで、登下校の安全の確保が図られた。</p>																																												
成果に係る評価	<p>遠距離通学生徒の安全・安心を図るため継続が必要な事業であるが、地域の実情を考慮しつつ、適正な運行を模索していく必要がある。</p>																																												
予算の執行状況	（単位：円）																																												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																							
35,719,100	34,658,834	10,111,000			24,547,834																																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )											
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )											
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )											
小 事 業	中学校保健費																	
事 業 名	学校医・薬剤師配置事業（中学校）																	
目的及び事業内容	<p>各学校に学校医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、生徒に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医の配置</li> <li>・学校薬剤師の配置</li> </ul>																	
取 組 実 績	<p>1 学校医の配置 市立中学校21校に、学校医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校医の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>18 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>歯 科 医</td> <td>22 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 市立中学校21校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校薬剤師の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>15 人</td> </tr> </table>								内 科 医	18 人	眼 科 医	5 人	耳 鼻 科 医	5 人	歯 科 医	22 人	薬 剤 師	15 人
内 科 医	18 人																	
眼 科 医	5 人																	
耳 鼻 科 医	5 人																	
歯 科 医	22 人																	
薬 剤 師	15 人																	
成 果	<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>2 学校施設における日常点検や定期検査の実施等により、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>																	
成果に係る評価	<p>生徒に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。ただ、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の学校医を兼務している実態もあることから、対応策について検討し、今後も学校への医師派遣事業を継続する必要がある。</p>																	
予算の執行状況	（単位：円）																	
	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源												
17,288,000	16,554,960	332,000			16,222,960													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )										
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )										
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )										
小 事 業	中学校保健費																
事 業 名	健康診断・検査等実施事業（中学校）																
目的及び事業内容	<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																
取 組 実 績	<p>1 生徒の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、結核健診、心臓病健診、尿検査、貧血・脂質検査 定期健康診断については全学年、心臓病健診については、対象学年である1年生に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 中学校各校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>																
成 果	<p>定期健康診断を行い、生徒の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し健康管理に努めた。また、学校の水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td>1 定期健康診断</td> <td>中学生</td> <td>4,337人</td> </tr> <tr> <td>心臓病健診</td> <td>1年生</td> <td>1,370人</td> </tr> <tr> <td>2 飲料水水質検査</td> <td>中学校</td> <td>17校</td> </tr> </table>								1 定期健康診断	中学生	4,337人	心臓病健診	1年生	1,370人	2 飲料水水質検査	中学校	17校
1 定期健康診断	中学生	4,337人															
心臓病健診	1年生	1,370人															
2 飲料水水質検査	中学校	17校															
成果に係る評価	<p>生徒の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方について、検討していく必要がある。</p>																
予算の執行状況	(単位：円)																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
7,031,880	5,986,979	29,000			5,957,979												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )									
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )									
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )									
小 事 業		中学校教育用コンピューター関係費														
事 業 名		情報教育環境整備事業（中学校）														
目的及び事業内容		国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内中学校の教育用コンピューター及び周辺機器の更新及び賃貸借（購入又はリース）														
取 組 実 績		<p>中学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備年度</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>石巻地区3校：普通教室及びPC教室に計158台整備 雄勝地区2校：普通教室及びPC教室に計62台整備 北上地区1校：普通教室及びPC教室に計45台整備</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>河北地区3校：普通教室及びPC教室に計90台整備 桃生地区1校：普通教室及びPC教室に計42台整備</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>河南地区2校：普通教室及びPC教室に計90台整備 牡鹿地区1校：普通教室及びPC教室に計44台整備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成20年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。  ※ 平成21年度については、緊急経済対策事業で実施  ※ 平成23年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。</p>							整備年度	整備内容	H19	石巻地区3校：普通教室及びPC教室に計158台整備 雄勝地区2校：普通教室及びPC教室に計62台整備 北上地区1校：普通教室及びPC教室に計45台整備	H21	河北地区3校：普通教室及びPC教室に計90台整備 桃生地区1校：普通教室及びPC教室に計42台整備	H22	河南地区2校：普通教室及びPC教室に計90台整備 牡鹿地区1校：普通教室及びPC教室に計44台整備
整備年度	整備内容															
H19	石巻地区3校：普通教室及びPC教室に計158台整備 雄勝地区2校：普通教室及びPC教室に計62台整備 北上地区1校：普通教室及びPC教室に計45台整備															
H21	河北地区3校：普通教室及びPC教室に計90台整備 桃生地区1校：普通教室及びPC教室に計42台整備															
H22	河南地区2校：普通教室及びPC教室に計90台整備 牡鹿地区1校：普通教室及びPC教室に計44台整備															
成 果		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒がITの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。</li> <li>情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。</li> <li>各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。</li> </ul>														
成果に係る評価		<p>市内中学校の教育用コンピューターについては、文部科学省の整備基準（生徒3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、本市の現状に促した有効的な整備内容を考察しながら、計画的に整備する。</p> <p>近年は購入による整備が進んでいることから、機器整備後の維持補修負荷が増大しており、今後の管理方法等を検討し、事務効率の向上を図りたい。</p>														
予算の執行状況		（単位：円）														
		予算額	決算額	決算額の財源内訳												
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
27,691,000	26,350,363				26,350,363											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )	

小 事 業	中学校教育振興援助費
-------	------------

事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）
-------	------------------------

目的及び事業内容	<p>経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者に対し就学費の助成を行うとともに、特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し就学奨励費の助成を行うことにより、教育機会の均等な提供に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費の助成</li> <li>・特別支援教育就学奨励費の助成</li> </ul>
----------	--

取 組 実 績	1 就学援助費 助成	認定者数 648名																					
			<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>13,725,925 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>311,138 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>254,784 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>4,053,300 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>10,833,062 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>26,522,324 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>318,510 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>56,019,043 円</td></tr> </table>	学用品費	13,725,925 円	校外活動費（泊無し）	311,138 円	校外活動費（泊付き）	254,784 円	新入学用品費	4,053,300 円	修学旅行費	10,833,062 円	給食費	26,522,324 円	医療費	318,510 円	計	56,019,043 円				
学用品費	13,725,925 円																						
校外活動費（泊無し）	311,138 円																						
校外活動費（泊付き）	254,784 円																						
新入学用品費	4,053,300 円																						
修学旅行費	10,833,062 円																						
給食費	26,522,324 円																						
医療費	318,510 円																						
計	56,019,043 円																						
	2 特別支援教育就学奨励費 助成	認定者数 19人																					
			<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>203,266 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>1,716 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>8,230 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>195,236 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>80,150 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>166,541 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>409,893 円</td></tr> <tr><td>交流学习</td><td>327,760 円</td></tr> <tr><td>職場実習交通費</td><td>3,976,619 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>5,369,411 円</td></tr> </table>	学用品費	203,266 円	校外活動費（泊無し）	1,716 円	校外活動費（泊付き）	8,230 円	通学費	195,236 円	新入学用品費	80,150 円	修学旅行費	166,541 円	給食費	409,893 円	交流学习	327,760 円	職場実習交通費	3,976,619 円	計	5,369,411 円
学用品費	203,266 円																						
校外活動費（泊無し）	1,716 円																						
校外活動費（泊付き）	8,230 円																						
通学費	195,236 円																						
新入学用品費	80,150 円																						
修学旅行費	166,541 円																						
給食費	409,893 円																						
交流学习	327,760 円																						
職場実習交通費	3,976,619 円																						
計	5,369,411 円																						

成 果	<p>経済的に就学困難な生徒の保護者へ学校で必要となる経費を援助することにより、義務教育を円滑に実施することができた。</p> <p>また、特別支援学級へ通う生徒の保護者へ必要な経費を援助することにより、経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図ることができた。</p>
-----	---

成果に係る評価	<p>経済的に就学困難な家庭や、特別支援学級に通級する生徒の保護者へ経済的に支援することにより、生徒の就学を確保し円滑な義務教育を図ることができることから今後も継続していく必要のある事業である。</p> <p>ただし、経済情勢が厳しいことを踏まえて、今後は認定基準や支給基準についてその状況に応じ柔軟に対応することが必要である。</p>
---------	--

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	73,112,000	61,400,454	2,021,000			59,379,454

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )	

小 事 業 中学校図書整備事業費、中学校図書整備事業費（緊急総合経済対策分）

事 業 名 学校図書整備事業（中学校）〔住民生活〕

目的及び事業内容 全国的な傾向である中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成19年度から平成23年度まで「新学校図書館図書整備5カ年計画」に基づき整備を推進した。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内中学校の学校図書を整備するもの。  
平成24年度末には、当面の整備目標である、市内全ての中学校が「学校図書館図書標準」の充足率50%以上となることを目標とし、整備を実施した。

取 組 実 績 震災のため一部の学校で蔵書が流失した影響から、当面の整備目標（市内全ての中学校において学校図書館標準書数に対する充足率50%以上）は達成されなかった。しかし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入のほか厚意の図書寄贈により、一定の取得数が得られた。

<中学校図書の整備冊数>

H20	H21	H22	H23
3,527冊	7,720冊	10,576冊	10,475冊

※ 寄附・寄贈含む（緊急経済対策事業による購入冊数も含む。）。

成 果 学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、児童生徒が自ら進んで言葉を学び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。また上記の取り組みにより、市内中学校の平均充足率の激減は避けられた。

<中学校図書の充足率>

H20	H21	H22	H23
55.83%	59.56%	68.22%	61.29%

※ 平成23年度末での充足率50%の達成校 18校  
※ 数値は市内中学校の平均である。

成果に係る評価 学校図書を学習活動に積極的に活用し、学習効果の向上を図るには、児童生徒の課題解決に沿った図書が整備充実され、いつでも気軽に利用できるような環境を整えることが必要である。学校図書整備はその基本となる事業であり、今後とも読書環境の整備に努めたい。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	24,720,836	24,401,545			11,480,870	12,920,675

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																								
	3 項	中学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																								
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																								
小 事 業	中学校管理費（東日本大震災関係分・教育総務課）																														
事 業 名	通学支援事業（中学校）																														
目的及び事業内容	<p>東日本大震災の被災により遠距離通学となる生徒に対し、安全、安心に通学できる環境を提供することを目的とし、スクールバス運行による通学支援や公共交通機関利用に係る負担額への助成を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被災した学校の学区から間借り校又は仮設校舎までスクールバスの運行を実施する。</li> <li>通学路の安全対策として、公共交通機関の利用に対する助成やスクールバスの運行を実施する。</li> </ul>																														
取 組 実 績	<p>東日本大震災の被災により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバスの運行による通学支援や公共交通機関利用に係る負担額への助成を実施した。</p> <p>（支援実績）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スクールバス</td> <td>5校</td> <td>499人</td> <td>97,414,540円</td> </tr> <tr> <td>通学費補助</td> <td>1校</td> <td>3人</td> <td>30,080円</td> </tr> </tbody> </table> <p>（支援対象学校の状況）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊中学校</td> <td>仮設校舎（中里小学校校庭）</td> </tr> <tr> <td>渡波中学校</td> <td>仮設校舎（稲井小学校校庭）</td> </tr> <tr> <td>万石浦中学校</td> <td>冠水対策のためスクールバス運行、通学路安全対策のため通学費補助</td> </tr> <tr> <td>大川中学校</td> <td>飯野川中学校へ間借り</td> </tr> <tr> <td>雄勝中学校</td> <td>宮城県石巻北高飯野川校へ間借り</td> </tr> </tbody> </table>							区分	学校数	対象人数	金額	スクールバス	5校	499人	97,414,540円	通学費補助	1校	3人	30,080円	学校名	状 況	湊中学校	仮設校舎（中里小学校校庭）	渡波中学校	仮設校舎（稲井小学校校庭）	万石浦中学校	冠水対策のためスクールバス運行、通学路安全対策のため通学費補助	大川中学校	飯野川中学校へ間借り	雄勝中学校	宮城県石巻北高飯野川校へ間借り
区分	学校数	対象人数	金額																												
スクールバス	5校	499人	97,414,540円																												
通学費補助	1校	3人	30,080円																												
学校名	状 況																														
湊中学校	仮設校舎（中里小学校校庭）																														
渡波中学校	仮設校舎（稲井小学校校庭）																														
万石浦中学校	冠水対策のためスクールバス運行、通学路安全対策のため通学費補助																														
大川中学校	飯野川中学校へ間借り																														
雄勝中学校	宮城県石巻北高飯野川校へ間借り																														
成 果	東日本大震災の被災により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバスの運行による通学支援や公共交通機関利用に係る負担額への助成を実施したことにより、安全、安心に通学できる環境を提供することができた。																														
成果に係る評価	被災した学校の学区から間借り校又は仮設校舎へ遠距離通学となる生徒の通学支援と通学路の安全対策が図られ、安全・安心に通学することができた。 今後は、被災した生徒へ中・長期的な支援を行うため、学校施設や被災者の再建状況を見ながら事業を継続していく。																														
予算の執行状況	（単位：円）																														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																									
104,000,000	97,444,620	94,200,490			3,244,130																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																	
	3 項	中学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																	
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																	
小 事 業	中学校教育振興援助費（東日本大震災関係分）																							
事 業 名	就学援助事業（中学校）																							
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった生徒の保護者に対し、就学費の助成を行うことにより、生徒の就学の機会を確保する。  （支給対象者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯</li> <li>・世帯収入が著しく減少した世帯</li> </ul>																							
取 組 実 績	1 就学援助費 認定者数 1,389名																							
	助 成		<table border="1"> <tr> <td>学用品費</td> <td>31,439,282 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊無し）</td> <td>382,559 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊付き）</td> <td>518,503 円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>336,626 円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>9,320,300 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>19,949,625 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>61,924,070 円</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>4,040 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>123,875,005 円</td> </tr> </table>					学用品費	31,439,282 円	校外活動費（泊無し）	382,559 円	校外活動費（泊付き）	518,503 円	通学費	336,626 円	新入学用品費	9,320,300 円	修学旅行費	19,949,625 円	給食費	61,924,070 円	医療費	4,040 円	計
学用品費	31,439,282 円																							
校外活動費（泊無し）	382,559 円																							
校外活動費（泊付き）	518,503 円																							
通学費	336,626 円																							
新入学用品費	9,320,300 円																							
修学旅行費	19,949,625 円																							
給食費	61,924,070 円																							
医療費	4,040 円																							
計	123,875,005 円																							
成 果	東日本大震災により被災し、就学が困難となった生徒に対し就学援助費を支給することにより、生徒の就学の機会を確保することができた。																							
成果に係る評価	<p>国の被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金制度を活用し事業を実施しており、被災した生徒への中・長期的な就学支援を行うため、今後も継続していく必要がある。  ただし、同制度は現時点では平成26年度までとされており、その後の事業実施に当たっては、認定基準や支給基準について、本市の復興状況に応じた見直しが必要となる。</p>																							
予算の執行状況	（単位：円）																							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																		
157,769,000	123,875,005	123,875,005																						



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )											
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )											
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )											
小 事 業		高等学校保健費																
事 業 名		学校医・薬剤師配置事業（高等学校）																
目的及び事業内容		各学校に学校医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、生徒に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置																
取 組 実 績		1 学校医の配置 市立高等学校2校に、学校医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施 ・委嘱した学校医の人数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>内 科 医</td><td>3 人</td></tr> <tr><td>眼 科 医</td><td>1 人</td></tr> <tr><td>耳 鼻 科 医</td><td>2 人</td></tr> <tr><td>歯 科 医</td><td>3 人</td></tr> </table> 2 学校薬剤師の配置 市立高等学校2校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施 ・委嘱した学校薬剤師の人数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>薬 剤 師</td><td>2 人</td></tr> </table>							内 科 医	3 人	眼 科 医	1 人	耳 鼻 科 医	2 人	歯 科 医	3 人	薬 剤 師	2 人
内 科 医	3 人																	
眼 科 医	1 人																	
耳 鼻 科 医	2 人																	
歯 科 医	3 人																	
薬 剤 師	2 人																	
成 果		1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全育成や健康の保持増進が図られた。 2 学校施設における日常点検や定期検査の実施等により、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。																
成果に係る評価		生徒に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。ただ、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の学校医を兼務している実態もあることから、対応策について検討し、今後も学校への医師派遣事業を継続する必要がある。																
（単位：円）																		
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳														
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源											
		2,512,000	2,273,200				2,273,200											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
小 事 業		高等学校保健費						
事 業 名		健康診断・検査等実施事業（高等学校）						
目的及び事業内容		<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期健康診断の実施</li> <li>・ 飲料水水質検査の実施</li> </ul>						
取 組 実 績		<p>1 生徒の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科検診、結核健診、心臓病検診、尿検査 定期健康診断については全学年、心臓病健診については、対象学年である1年生に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 高等学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>						
成 果		<p>定期健康診断を行い、生徒の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し、生徒の健康管理に努めた。 また、学校の水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <p>1 定期健康診断      高校生 835人 心臓病検診          1年生 250人</p> <p>2 飲料水水質検査      高等学校 1校</p>						
成果に係る評価		<p>生徒の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。 近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方について、検討していく必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		1,489,100	1,142,240				1,142,240	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( 1 )	未来の人を育てる
	1 目	学校管理費		( 4 )	魅力ある高等学校教育を推進する		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
小 事 業		高等学校統合事業費						
事 業 名		市立高等学校統合新設事業、市立高等学校統合事業						
目的及び事業内容		石巻市立高等学校将来構想策定検討委員会の意見を受けて、平成21年12月に石巻市立高等学校再編の基本方針を策定したが、平成23年3月11日に東日本大震災が発生し、石巻市立女子商業高等学校が津波による甚大な被害を受けたことから、これまでの方針を見直し、平成23年8月に、新たに基本方針を策定した。この基本方針に基づき、「市立高等学校統合事業基本計画」を策定し、平成27年度の統合に向けて整備事業を実施する。						
取 組 実 績		<p>石巻市立高等学校統合事業基本計画の策定</p> <p>H23.6 計画策定業務委託</p> <p>H23.8 統合準備委員会で統合校の概要及び基本計画の審議</p> <p>H23.8 教育委員会定例会で基本方針（見直し）を議決</p> <p>H23.9 市議会全員協議会で基本方針（見直し）を説明</p> <p>H23.10 統合準備委員会で基本計画の審議</p> <p>H24.1 統合準備委員会で基本計画最終案をまとめる</p> <p>H24.1 教育委員会定例会で統合事業基本計画が議決</p> <p>H24.2 庁議で基本計画の審議</p> <p>H24.2 市議会全員協議会で基本計画を説明</p>						
成 果		<p>基本計画の概要</p> <p>1 計画名 石巻市立高等学校統合事業基本計画</p> <p>2 策定年月 平成24年2月</p> <p>3 統合校の概要</p> <p>① 市立女子高等学校と市立女子商業高等学校を統合し、女子校として新設する。</p> <p>② 施設は、現市立女子高等学校の施設を活用する。</p> <p>③ 学科は、普通科コース制を採用し、設置コースは2コースとする。</p> <p>④ 学級数及び定員は5クラス、200名とする。</p> <p>⑤ 統合目標年度を平成27年度とし、同年度から現市立高等学校2校の募集を停止するとともに、統合校を新設する。</p> <p>⑥ 施設の改修は、校舎の整備（耐震補強、大規模改修、増築）及び体育館移転新築を施す。</p> <p>4 主なスケジュール</p> <p>H24 各種設計及び調査業務、仮設校舎設置、校名選考、教育課程策定</p> <p>H25～H26 施設整備事業実施、校章、校歌、制服、校務分掌</p> <p>H27 開校（2・3年生は市立高等学校2校から転学）</p>						
成果に係る評価		石巻市立高等学校再編の基本方針に基づき、石巻市立高等学校統合準備委員会を開催し協議を重ね、統合事業基本計画を策定した。これにより、統合目標年度の設定、事業スケジュール等が明確となり、市立高等学校の統合を具体的に進めることができる。						
(単位：円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		5,356,000	4,354,350				4,354,350	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )							
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )							
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )							
小 事 業		高等学校教育用コンピュータ関係費												
事 業 名		情報教育環境整備事業（高等学校）												
目的及び事業内容		国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。 市内高等学校の教育用コンピュータ及び周辺機器の更新及び賃貸借（購入又はリース）												
取 組 実 績		<p>高等学校教育用コンピュータ整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備年度</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>石巻市立女子高等学校：PC教室及び普通教室に計58台整備</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>石巻市立女子商業高等学校：PC教室及び普通教室に計147台整備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成20～23年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。</p>							整備年度	整備内容	H17	石巻市立女子高等学校：PC教室及び普通教室に計58台整備	H19	石巻市立女子商業高等学校：PC教室及び普通教室に計147台整備
整備年度	整備内容													
H17	石巻市立女子高等学校：PC教室及び普通教室に計58台整備													
H19	石巻市立女子商業高等学校：PC教室及び普通教室に計147台整備													
成 果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がITの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。</li> <li>・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。</li> <li>・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。</li> </ul>												
成果に係る評価		<p>小中学校に先立ち、専門課程対応を含め情報教育環境の整備充実に努めてきた。 市内高等学校の教育用コンピュータについては、文部科学省の整備基準（生徒3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、各市立高等学校の特色を活かしながら整備を図る。 機器整備後の維持補修負荷が増大しており、今後の管理方法等を検討し、事務効率の向上を図りたい。</p>												
予算の執行状況		（単位：円）												
		予算額	決算額	決算額の財源内訳										
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源							
2,641,000	2,182,414				2,182,414									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる												
	4 項	高等学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる												
	3 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興												
小 事 業	高等学校管理費（東日本大震災関係分・教育総務課）																		
事 業 名	通学支援事業（高等学校）																		
目的及び事業内容	東日本大震災により学校が被災したことにより間借り校に通学することとなった生徒に対し、安全、安心に通学できる環境を提供することを目的とし、スクールバスの運行による通学支援を実施する。																		
取 組 実 績	<p>東日本大震災により被災した学校から間借り校まで通学することとなった生徒に対し、スクールバスの運行による通学支援を実施した。</p> <p>(支援実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スクールバス</td> <td>1校</td> <td>93人</td> <td>21,913,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(支援対象学校の状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市立女子商業高等学校</td> <td>仮設校舎（市立女子高等学校校庭）</td> </tr> </tbody> </table>							区分	学校数	対象人数	金額	スクールバス	1校	93人	21,913,500円	学校名	状 況	市立女子商業高等学校	仮設校舎（市立女子高等学校校庭）
区分	学校数	対象人数	金額																
スクールバス	1校	93人	21,913,500円																
学校名	状 況																		
市立女子商業高等学校	仮設校舎（市立女子高等学校校庭）																		
成 果	東日本大震災により被災した学校から間借り校まで通学することとなった生徒に対し、スクールバスの運行による通学支援を実施したことにより、安全、安心に通学できる環境を提供することができた。																		
成果に係る評価	被災した学校から間借り校まで通学することとなった生徒に対しての通学支援が図られ、安全・安心に通学することができた。																		
予算の執行状況	(単位：円)																		
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
25,200,000	21,913,500				21,913,500														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )											
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )											
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )											
小 事 業		幼稚園保健費																
事 業 名		学校医・薬剤師配置事業（幼稚園）																
目的及び事業内容		各幼稚園に幼稚園医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、幼児に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・幼稚園医の配置 ・幼稚園薬剤師の配置																
取 組 実 績		<p>1 幼稚園医の配置 市立幼稚園5園に、幼稚園医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施</p> <p>・委嘱した幼稚園医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>4 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>歯 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> </table> <p>2 幼稚園薬剤師の配置 市立幼稚園5園に、薬剤師を委嘱し、飲料水の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <p>・委嘱した幼稚園薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>5 人</td> </tr> </table>							内 科 医	4 人	眼 科 医	3 人	耳 鼻 科 医	3 人	歯 科 医	5 人	薬 剤 師	5 人
内 科 医	4 人																	
眼 科 医	3 人																	
耳 鼻 科 医	3 人																	
歯 科 医	5 人																	
薬 剤 師	5 人																	
成 果		<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、幼稚園に対して的確な指導と助言が行われ、幼児の健全育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>2 幼稚園施設における日常点検や定期検査の実施等により、幼稚園内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された施設内環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>																
成果に係る評価		幼児に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。ただ、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の幼稚園医を兼務している実態もあることから、対応策について検討し、今後も幼稚園への医師派遣事業を継続する必要がある。																
予算の執行状況		（単位：円）																
		予算額	決算額	決算額の財源内訳														
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源											
2,711,000	2,619,360				2,619,360													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
小 事 業		幼稚園保健費						
事 業 名		健康診断・検査等実施事業（幼稚園）						
目的及び事業内容		<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、幼児の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>						
取 組 実 績		<p>1 幼児の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科検診、結核健診、尿検査、寄生虫卵検査 定期健康診断及び各種検査については、園児全員を対象に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 幼稚園各園の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>						
成 果		<p>定期健康診断を行い、幼児の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し、幼児の健康管理に努めた。また、幼稚園の水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <p>1 定期健康診断                      幼稚園児 251人 2 飲料水水質検査                      幼稚園 4園</p>						
成果に係る評価		<p>幼児の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方について、検討していく必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		337,025	256,248				256,248	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																			
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																			
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																			
小 事 業	私立幼稚園就園奨励費																									
事 業 名	私立幼稚園就園奨励費助成事業																									
目的及び事業内容	<p>私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い保護者に対して私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、義務教育就学前における幼児教育の振興を図る。</p> <p>・私立幼稚園就園奨励費の助成</p>																									
取 組 実 績	<p>市内に居住している園児の入園料・保育料の減免措置を行っている私立幼稚園に対し、一部国の補助を受け補助金を交付した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満3歳児</td> <td>10人</td> <td>666,400円</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>83人</td> <td>7,699,400円</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>190人</td> <td>16,484,800円</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>173人</td> <td>14,061,700円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>456人</td> <td>38,912,300円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	対象人数	補助金額	満3歳児	10人	666,400円	3歳児	83人	7,699,400円	4歳児	190人	16,484,800円	5歳児	173人	14,061,700円	合計	456人	38,912,300円
区分	対象人数	補助金額																								
満3歳児	10人	666,400円																								
3歳児	83人	7,699,400円																								
4歳児	190人	16,484,800円																								
5歳児	173人	14,061,700円																								
合計	456人	38,912,300円																								
成 果	<p>私立幼稚園が行う所得が低い入園児の保護者に対する入園料、保育料の減免措置に対して助成することにより、就園する保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学前における幼児教育の振興に資することができた。</p> <p>なお、東日本大震災により被災した幼児の保護者に対する保育料等の減免に対する支援は、宮城県が「私立学校授業料等軽減特別事業」として実施していることから、本市が行う私立幼稚園就園奨励費の対象者数が大幅に減少した。</p> <p>(補助内訳)</p> <p>就園奨励費補助金</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>1,218人</td> <td>104,191,100円</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1,143人</td> <td>97,359,700円</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>456人</td> <td>38,912,300円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	対象人数	補助金額	H21	1,218人	104,191,100円	H22	1,143人	97,359,700円	H23	456人	38,912,300円						
区分	対象人数	補助金額																								
H21	1,218人	104,191,100円																								
H22	1,143人	97,359,700円																								
H23	456人	38,912,300円																								
成果に係る評価	<p>本市幼児教育の普及充実と保護者の経済的負担を軽減することを目的とした事業であり、私立幼稚園の実情に即した支援に努めていかなければならない。</p> <p>なお、東日本大震災により被災した幼児の保護者に対する保育料等の減免に対する支援は、宮城県が「私立学校授業料等軽減特別事業」として平成26年度まで実施する予定とされており、その後の事業実施に当たっては、本市の復興状況に応じて事業内容の見直しが必要となる。</p>																									
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	39,391,000	38,912,300	8,923,000			29,989,300																				



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	

小 事 業	私立幼稚園運営費助成費
-------	-------------

事 業 名	私立幼稚園運営費助成事業
-------	--------------

目的及び事業内容	<p>市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担の軽減を図る。</p> <p>・私立幼稚園運営費の助成</p> <table border="1"> <tr> <td>幼稚園割</td> <td>1園</td> <td>160,000円</td> </tr> <tr> <td>職員割</td> <td>1人</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>園児割</td> <td>1人</td> <td>1,200円</td> </tr> </table>	幼稚園割	1園	160,000円	職員割	1人	30,000円	園児割	1人	1,200円
幼稚園割	1園	160,000円								
職員割	1人	30,000円								
園児割	1人	1,200円								

取 組 実 績	市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行った。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日和幼稚園</td> <td>517,600円</td> </tr> <tr> <td>穀町幼稚園</td> <td>803,200円</td> </tr> <tr> <td>法山寺幼稚園</td> <td>620,800円</td> </tr> <tr> <td>石巻カトリック幼稚園</td> <td>694,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻みずほ幼稚園</td> <td>752,800円</td> </tr> <tr> <td>石巻みずほ第二幼稚園</td> <td>436,000円</td> </tr> <tr> <td>ひばり幼稚園</td> <td>1,206,400円</td> </tr> <tr> <td>栄光幼稚園</td> <td>396,400円</td> </tr> <tr> <td>長浜幼稚園</td> <td>438,400円</td> </tr> <tr> <td>万石浦幼稚園</td> <td>437,200円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6,302,800円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	運営費補助金	日和幼稚園	517,600円	穀町幼稚園	803,200円	法山寺幼稚園	620,800円	石巻カトリック幼稚園	694,000円	石巻みずほ幼稚園	752,800円	石巻みずほ第二幼稚園	436,000円	ひばり幼稚園	1,206,400円	栄光幼稚園	396,400円	長浜幼稚園	438,400円	万石浦幼稚園	437,200円	合 計	6,302,800円
区分	運営費補助金																								
日和幼稚園	517,600円																								
穀町幼稚園	803,200円																								
法山寺幼稚園	620,800円																								
石巻カトリック幼稚園	694,000円																								
石巻みずほ幼稚園	752,800円																								
石巻みずほ第二幼稚園	436,000円																								
ひばり幼稚園	1,206,400円																								
栄光幼稚園	396,400円																								
長浜幼稚園	438,400円																								
万石浦幼稚園	437,200円																								
合 計	6,302,800円																								

成 果	義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。								
	<p>(助成内訳)</p> <p>運営費補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>7,493,200円</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>7,092,400円</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>6,302,800円</td> </tr> </tbody> </table>		区分	運営費補助金	H21	7,493,200円	H22	7,092,400円	H23
区分	運営費補助金								
H21	7,493,200円								
H22	7,092,400円								
H23	6,302,800円								

成果に係る評価	本市幼児教育の推進を図ることを目的とした事業であり、私立幼稚園の活動内容や運営の実情に即した支援に努めていかなければならない。
---------	---

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	6,303,000	6,302,800				6,302,800

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる												
	5 項	幼稚園費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる												
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興												
小 事 業	幼稚園管理費（東日本大震災関係分・教育総務課）																		
事 業 名	通学支援事業（幼稚園）																		
目的及び事業内容	東日本大震災により幼稚園が被災したことにより間借り園に通園することとなった園児に対し、安全、安心に通学できる環境を提供することを目的とし、スクールバスの運行による通園支援を実施する。																		
取 組 実 績	<p>東日本大震災により被災した幼稚園から間借り園まで通園することとなった園児に対し、スクールバスの運行による通園支援を実施した。</p> <p>(支援実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スクールバス</td> <td>1園</td> <td>14人</td> <td>5,638,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(支援対象幼稚園の状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>幼稚園名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊幼稚園</td> <td>住吉幼稚園へ間借り</td> </tr> </tbody> </table>							区分	学校数	対象人数	金額	スクールバス	1園	14人	5,638,500円	幼稚園名	状 況	湊幼稚園	住吉幼稚園へ間借り
区分	学校数	対象人数	金額																
スクールバス	1園	14人	5,638,500円																
幼稚園名	状 況																		
湊幼稚園	住吉幼稚園へ間借り																		
成 果	東日本大震災により被災した幼稚園から間借り園まで通園することとなった園児に対し、スクールバスの運行による通園支援を実施したことにより、安全、安心に通園できる環境を提供することができた。																		
成果に係る評価	被災した幼稚園から間借り園まで通園することとなった園児に対しての通園支援が図られ、安全・安心に通園することができた。 今後は、被災した園児へ中・長期的な支援を行うため、幼稚園の再建状況を見ながら事業を継続していく。																		
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	6,300,000	5,638,500				5,638,500													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	
	6 項	社会教育費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる	
	1 目	社会教育事務費		( )		( 3 )	子どものケアの実施	
小 事 業	社会教育事務費							
事 業 名	家庭教育支援事業							
目的及び事業内容	子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーなどを身近な人たちによる「家庭教育支援チーム」を組織し、孤立しがちな保護者や仕事で忙しい保護者など、地域とのコミュニケーションや学習の機会等になかなか参加できない保護者や家庭に対する支援を行う。							
取 組 実 績	<p>1 仮設団地集会所における親子参加型の活動  名 称 : 子育てサロン  実施期間 : 平成23年9月～平成24年3月  実施回数 : 8回  参加人数等 : 参加した親子の総数 延べ61組 参加人数総数 延べ153人</p> <p>2 家庭教育支援に関する研修会(家庭教育支援関係者対象)  年間3回実施  参加者総数 75名  他団体等の連携 : 宮城県教育庁生涯学習課、長崎県福祉保健部こども政策局こども未来課  涌谷町教育委員会、栗原市教育委員会、市子育て支援センター「パプラ」</p> <p>3 親の学び講座(母親対象)  名 称 : ノーバディーズ・パーフェクトプログラム研修  実施回数 : 年3回  参加人数総数 : 28名</p>							
成 果	被災により多くの社会教育施設が使用不能なため、仮設団地の集会所を会場として9月から親子参加型の活動を継続してきた。 家庭教育支援チームの活動が徐々に市民に知られるようになり、参加する親子は着実に増加しているとともに、市内のNPOや子育てサークルとの連携により内容が充実してきた。 参加者の増加に伴い、支援者の確保が課題となっている。							
成果に係る評価	9月から実施した事業であるが、家庭教育支援チームの活動が徐々に知られるようになってきており、それとともに市内のNPO及び子育てサークルとの連携により内容も充実してきている。 震災により生活環境の変化等による子育ての不安をサポートするため、当事業の成果は大きい。							
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,430		3,430					3,430

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる		( )	
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	市民の主体的な学習活動を支援する		( )	
小 事 業	社会教育事務費							
事 業 名	青年文化祭支援事業							
目的及び事業内容	<p>地域青年が文化芸術活動を発表する機会を設けることで、青年活動の活性化を図り、また、地域住民との交流を通して、健全で豊かな地域社会を創造することを目的とする。</p> <p>石巻地区2市1町の青年及び担当職員により、実行委員会を組織し、企画からPR、作品作成・展示等を含め全て手作りで青年文化祭の事業を実施する。</p>							
取 組 実 績	<p>平成23年度は、東松島市が開催事務局及び開催地として、2月12日（日）に東松島市小野市民センターを会場に、石巻地区青年文化祭を「集まった人々が温かい気持ちになる『場所』をめざそう」を基本方針に、活動をとおして地域の人々と幅広く交流することにより、石巻地区の震災復興に寄与するとともに、豊かな地域づくりに貢献しようという思いで開催した。</p> <p>東日本大震災により文化祭の実施が不透明となったが、7月に3市町の青年30数名で実行委員会を立ち上げ、「被災者が笑顔になれる心温まる場を提供しよう」と開催に向け、延べ17回の実行委員会を開催し、文化祭を作り上げた。</p> <p>当日はスタッフ・出演者・参加者等301人が参加し、本市からは実行委員10人が参加した。</p>							
成 果	<p>「復興に寄与する。」という観点からPR活動では石巻市の大規模商業施設に加え開催地である東松島市成人式会場や大規模な仮設住宅3か所でチラシ配布を行った。</p> <p>また、開催地区の小中学校へのポスター掲示や幼稚園・保育所へのチラシ配布・地元ラジオ局の番組への出演等、積極的に活動できた。</p> <p>更に「登米市青年文化祭」にも実行委員が出向き、会場でのチラシ配りと幕間を利用したPRを行った。</p> <p>テーマに震災からの復興を加味し「前へ進もう！ともに進もう！」という文言を入れ、集まった人々が温かい気持ちになる場所を目指して文化祭の企画を立てた。</p> <p>石巻地区退職校長親交会の「学校紹介パネル展」や三陸河北新報社の「石巻かほく復興写真展」とのコラボレーションを通し、来場者の気持ちを前向きにするきっかけづくりができた。</p>							
成果に係る評価	<p>宮城県教育委員会主催事業のため方向性の検討の余地はないが、行政関係者の実行委員が中心となって運営している状況から脱却し、広く地域の青年を巻き込んで実行委員会を活性化していく必要がある。</p> <p>そのためには各市町の成人式実行委員やジュニア・リーダー経験者に積極的に声がけをする等、新たな人材の掘り起こしが重要である。</p> <p>更に今後は、実行委員として集まった青年が仲間を増やししながら自主的、意欲的に活動していけるよう行政として見守り、支援していく必要がある。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	74,000	73,486				73,486		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )	
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	青少年を健全に育成する		( )	

小 事 業 少年指導者育成費

事 業 名 少年指導者育成事業

目的及び事業内容 子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。  
宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中高生）を養成する。受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳及び初級研修修了証を授与する。  
市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣、子どもたちの指導等を行う。

取 組 実 績

1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援

(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催

No.	事業名	開催日	実施場所	修了者
1	初級研修会 I	7月26日（火）～28日（木）	鹿又農業センター	15人

(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援

No.	事業名	開催日	実施場所	修了者
1	中級研修会	8月17日（水）～18日（木）	花山少年自然の家	11人
2	上級研修会	12月25日（日）～27日（火）	県志津川自然の家	2人

(3) ジュニア・リーダーのスキルアップのための研修事業参加支援及び研修機会の創出

No.	事業名	開催日	実施場所	参加者
1	第1回代表者会議	5月29日（日）	県青年会館	2人
2	東北子ども会JL大会	8月9日（火）～11日（木）	青森県東北町	5人
3	みやぎのJL大会	10月9日（日）	美里町交流センター	1人
4	みやぎのJL大会	11月13日（日）	岩沼市体育館	2人
5	石巻地区JLフェスタ	11月26日（土）	河北総合センター	20人
6	第2回代表者会議	11月27日（日）	県青年会館	5人
7	石巻市JL交流会	1月15日（日）	河北総合センター	13人
8	石巻市JL技術研修会	2月18日（土）	石巻中央公民館	10人
9	石巻市JL春季技術研修会	3月26日（月）～27日（火）	花山青少年自然の家	18人

2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援  
市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣、子どもたちの指導等を行った。  
団体による申請数：62回 派遣したジュニア・リーダー数（延べ）：169人  
会員数：92人

成 果  
自らも被災者であるジュニア・リーダーの活動再開に不安もあったが、会員の意欲・周囲の理解、協力もありスムーズに活動に移行することができた。復興に向け、積極的な姿勢で取り組んだことにより、活動範囲の広がりが見られ、自主的な活動に結びついた。  
活動対象が、小学生のみならず、避難所・仮設住宅訪問などで幅広い年代の方と触れ合うことで視野を広げることができ、資質向上にもつながった。  
震災後、市民のニーズが生活の立て直しとともに、心の癒し・コミュニティ形成にも向けられ、ジュニア・リーダーの資質・活動が大いに求められてきていることが、活動の意欲に結びついていた。また、ジュニア・リーダーの活動場所の中に仮設住宅・放課後児童クラブ・復興支援イベントなども入り、活動の幅も広がっている。

成果に係る評価  
地域の子ども会活動・復興支援事業などに関わる中・高校生を育成することで、子どもたちの活動の場の充実活性化を図るだけでなく、異年齢での地域集団を巻き込んだ様々な活動は地域活性化の起爆剤になっているとも言える。震災後は全国からの支援も寄せられ、それが活動の励みになっている。各種研修会・セミナーなどで交流の輪が広がっていることも大きい。ジュニア・リーダーの活動にあたっては、一緒に楽しむ・一緒に行動するという、共感的姿勢を大事にさせ、ジュニア・リーダーの本分は学業であることを自覚させるとともに、生活基盤確立のための家庭内での役割・将来を見据えての学校生活の充実を図ることのできる環境を作っていきたいと考えている。市内には7つのジュニア・リーダーサークルがあり、地区の被災状況により活動に大きな制約があるところもあるが、横のつながりを綿密にして、お互いに切磋琢磨しながら活動していく雰囲気作りも大切であるとする。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	758,000	384,403				384,403

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		( )	
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する		( )	
小 事 業	芸術文化振興費							
事 業 名	青少年文化芸術鑑賞事業							
目的及び事業内容	芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の青少年に対し、優れた生の芸術を鑑賞してもらい、豊かな情操を涵養する。学校の総合的学習時間等を利用して、優秀な舞台芸術の鑑賞を提供し、感受性豊かな人間としての育成を図るために必要な事業である。							
取 組 実 績	1 巡回小劇場							
	開催日		場所		公演内容		鑑賞学校	
	10月4日		飯野川第二小学校		混声四重奏とあそぼう「オペラってなあに？」		飯野川第二小学校	
	10月5日		飯野川中学校		混声四重奏とあそぼう「オペラってなあに？」		飯野川中学校	
	10月5日		山下小学校		混声四重奏とあそぼう「オペラってなあに？」		山下小学校	
	2 青少年劇場小公演							
	開催日		場所		公演内容		鑑賞学校	
	10月12日		住吉中学校		しゃみせんいろいろ		湊小学校	
	10月13日		桃生公民館		しゃみせんいろいろ		桃生小学校・中津山第一小学校・中津山第二小学校	
	10月13日		貞山小学校		しゃみせんいろいろ		貞山小学校	
3 子どものための優れた舞台芸術体験事業								
開催日		場所		公演内容		鑑賞学校		
12月1日		広淵小学校		音楽劇 藤原歌劇団		広淵小学校		
12月6日		蛇田小学校		邦楽グループ「玉手箱」		蛇田小学校		
12月7日		和淵小学校		邦楽グループ「玉手箱」		和淵小学校		
成 果	児童・生徒に対し、優れた生の芸術を鑑賞する機会を提供することにより、情操を養い豊かな人間形成に寄与した。							
成果に係る評価	巡回小劇場等は、宮城県などが行うもので、市町村が一部の経費を負担するだけで質の高い芸術を小中学生へ提供できるものであるので、今後とも継続していく。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,458,000		1,276,590					1,276,590

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		( 1 )	未来の人を育てる
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興

小 事 業	芸術文化振興費
-------	---------

事 業 名	文化芸術団体育成事業、市民の文化芸術活動に対するサポート事業
-------	--------------------------------

目的及び事業内容	地域の芸術文化の発展を助長するとともにその活動を通じて、地域文化の振興と向上に寄与する。芸術文化の推進には、市民団体である文化協会、財団法人石巻市文化スポーツ振興公社と行政が協働して推進することが重要であり、今後とも本市の芸術文化の推進には、欠かせない民間団体である。
----------	--

取 組 実 績	1 石巻市文化協会の運営の支援 以下の目的のため設立した石巻市文化協会の運営を支援した。 (1) 地域の芸術文化の発展を助長するとともに、その活動を通じて地域文化の振興と向上に寄与する。 (2) 芸術文化団体相互の連絡調整を図る。 (3) 内外の優れた芸術団体の交流 (4) 歴史・伝統・文化を生かした街づくりの推進に寄与する。								
	2 石巻市文化協会の概要 (平成23年4月1日現在)								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設立年月日</th> <th>加盟団体数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市文化協会</td> <td>平成17年6月18日</td> <td>185団体</td> <td>5,973人</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設立年月日	加盟団体数	会員数	石巻市文化協会	平成17年6月18日	185団体	5,973人
	名称	設立年月日	加盟団体数	会員数					
石巻市文化協会	平成17年6月18日	185団体	5,973人						
3 主要事業									

名称	設立年月日	加盟団体数	会員数
石巻市文化協会	平成17年6月18日	185団体	5,973人

事業名	開催期間
出前演芸大会 (河南文化協会)	平成23年10月8日(土)
かほく文化祭	平成23年11月3日(木)
第5回石巻市合同文化祭 桃生文化祭	平成23年11月5日(土)～6日(日)
文福一座復興寄席 (雄勝文化協会)	平成24年2月21日(火)
石巻市「東日本大震災追悼式典」	平成24年3月11日(日)

4 避難所への慰問

成 果	文化協会及び文化団体の事業を支援することにより、芸術文化の振興と地域に根ざした伝統文化の保存継承が図られた。
-----	--

成果に係る評価	文化協会は、旧市町にそれぞれ存在し、民間の文化振興の中核を担っている組織であった。合併後に大同団結し、石巻市文化協会が誕生し、旧市町を横断した活動が始まっている。今回の震災で壊滅的な打撃を受けた協会もあるが、それぞれの地域に根ざした活動も続けていく必要があり、今後とも石巻市文化協会に対しては継続して支援していく必要がある。
---------	--

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,645,000	1,000,000				1,000,000

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																					
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																																					
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	地域・家庭の教育力を強化する		( )																																					
小 事 業	家庭教育学級開設費																																											
事 業 名	家庭教育学級開設事業																																											
目的及び事業内容	<p>家庭や両親のあり方、子どもの心身の成長と子育て、子どもの成長と家庭環境等、家庭教育に関する学習の機会を提供し、子育てについての理解を深め、望ましい家庭教育ができるようにする。幼稚園、小・中学校の保護者を対象として、各幼稚園・学校単位のニーズにあった内容で学級を開設する。また、今後は、震災で傷ついた保護者や子供の心のケアをはかり、人間同士の関わり方を学ぶ機会を設ける。</p>																																											
取 組 実 績	<p>家庭や両親のあり方、子どもの心身の成長と子育て、子どもの成長と家庭環境等、家庭教育に関する学習機会を提供し、子育てについての理解を深め、望ましい家庭教育ができるよう家庭教育学級を開設した。</p> <p>1 開設機関 各地区（石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿）の公民館等  2 実施機関 各地区の幼稚園（私立も含む）、小学校、中学校  3 開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>学 級</th> <th>回 数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>24</td> <td>46回</td> <td>1,716人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>7</td> <td>7回</td> <td>345人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>2</td> <td>3回</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>15</td> <td>24回</td> <td>1,175人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>6</td> <td>13回</td> <td>871人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>4</td> <td>5回</td> <td>229人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>5</td> <td>5回</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>63</td> <td>103回</td> <td>4,506人</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	学 級	回 数	参加者	石巻地区	24	46回	1,716人	河北地区	7	7回	345人	雄勝地区	2	3回	69人	河南地区	15	24回	1,175人	桃生地区	6	13回	871人	北上地区	4	5回	229人	牡鹿地区	5	5回	101人	計	63	103回	4,506人
区 分	学 級	回 数	参加者																																									
石巻地区	24	46回	1,716人																																									
河北地区	7	7回	345人																																									
雄勝地区	2	3回	69人																																									
河南地区	15	24回	1,175人																																									
桃生地区	6	13回	871人																																									
北上地区	4	5回	229人																																									
牡鹿地区	5	5回	101人																																									
計	63	103回	4,506人																																									
成 果	<p>受講生のニーズに配慮した学習課題の設定と多様な学習方法の実施により、子どもの心身の発達に即した子育てや家庭学級のあり方についての理解が深まり、豊かな知識と情操、社会性を養うことができた。</p> <p>なお、東日本大震災により家庭教育学級の活動に支障をきたしている学校等があるため、より一層支援をしていく必要がある。</p>																																											
成果に係る評価	<p>地域連帯の希薄化、核家族化などにより子どもを育てる環境は悪化しているため、地域・学校・家庭の交流の場づくりや学習支援や学習情報の提供が重要になってきている。今後は、地域・学校・家庭の連携強化を図るとともに、家庭教育の大切さを理解していただきながら、家庭教育の担い手である親への学習機会や学習内容、情報提供等を一層充実していく。なお、未実施機関については、事業の必要性を理解していただき実施するよう働きかけ、学級開設の範囲拡大について検討していきたい。</p>																																											
予算の執行状況	(単位：円)																																											
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
750,000	408,000				408,000																																							



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																						
	6 項	社会教育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																						
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																						
小 事 業	子ども読書活動推進費																												
事 業 名	ブックスタート事業																												
目的及び事業内容	乳幼児期からの過程における読書活動の推進方策の一環として、乳幼児期に絵本との出会いの機会を創出し、さらには絵本の選び方や読み聞かせの方法についての保護者への啓発を行う。																												
取 組 実 績	<p>健康推進課で行っている3~4か月児健診の場において、乳児と保護者に対し、公募によるボランティアの読み聞かせを行いながら、ブックスタートパックを配付した。</p> <table border="0"> <tr> <td>3~4か月児健診</td> <td>対象者数</td> <td>1,027人</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>受診者数</td> <td>960人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配布者数</td> <td></td> <td>960人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配布率（対対象者）</td> <td></td> <td>93.5%</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配布率（対受診者）</td> <td></td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア会員数</td> <td></td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア延べ参加者数</td> <td></td> <td>170人</td> </tr> </table>								3~4か月児健診	対象者数	1,027人	"	受診者数	960人	ブックスタートパック配布者数		960人	ブックスタートパック配布率（対対象者）		93.5%	ブックスタートパック配布率（対受診者）		100.0%	読み聞かせボランティア会員数		16人	読み聞かせボランティア延べ参加者数		170人
3~4か月児健診	対象者数	1,027人																											
"	受診者数	960人																											
ブックスタートパック配布者数		960人																											
ブックスタートパック配布率（対対象者）		93.5%																											
ブックスタートパック配布率（対受診者）		100.0%																											
読み聞かせボランティア会員数		16人																											
読み聞かせボランティア延べ参加者数		170人																											
成 果	乳幼児にとって、心の成長に欠かすことのできない人への信頼感や温かな心を育む時間、また、保護者においても、かわいい赤ちゃんとの楽しくかけがえのないふれあいの時間の創出につながった。																												
成果に係る評価	この事業は、絵本を配付するだけではなく、3~4か月児健診の場において、ボランティアの方に実際に読み聞かせを行っていただき、その場で配付しているので、ボランティアの確保が必須である。また、3~4か月児健診（年間60回）の場を読書活動推進につなげるため、健康推進課及び図書館との連携を図り事業を遂行する必要がある。																												
（単位：円）																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																							
	2,228,000	2,184,104				2,184,104																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )	
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	地域・家庭の教育力を強化する		( )	
小 事 業		協働教育推進事業費						
事 業 名		コラボスクール推進委託事業						
目的及び事業内容		地域社会と学校教育が協働の仕組みを支える協議会を設置し、地域の特性を活かした教育活動を実施し、子どもたちの「生きる力」を醸成する。						
取 組 実 績		コラボスクール推進事業（市内小学校区2推進協議会へ委託） 協働教育支援会議1回開催 広淵小学校区コラボスクール推進協議会年3回開催 7事業実施 飯野川第二小学校区 " 年3回開催 8事業実施						
成 果		支援会議による報告や意見交換、モデル校訪問は、それぞれの事業推進のための有効な情報提供の機会となった。特に、今年度は2校の実施ということで、2校の取り組みの変容も十分に見ることができた。両校とも震災後の地域と連携した防災教育や復興に向けての取り組みを市内に大きく発信することができ、協働教育推進啓発に結びついている。また、飯野川第二小学校では、これまで地域に定着しなかった読み聞かせ活動が、他団体の協力で、立ち上げに結びついていることは特筆すべきことである。						
成果に係る評価		協働教育推進事業は、子どもたちの生きる力を育む教育活動の充実・改善を目指し、社会の中でたくましく生きる子どもを地域全体で育もうとするものである。 特に、震災時には、地域の持つ力が問われ、避難所運営や学校再開にあたっては、地域内での人と人の結びつきが大きな力となり、今後、ますますその重要性が増すものと考えている。 復興に向かう今、地域人材はもちろんのこと外部ボランティアの力も生かしながら、地域活性化につなげていきたい。						
（単位：円）								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
		200,000	200,000				200,000	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )	
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	創造力を育てる多様な環境をつくる		( )	
小 事 業	協働教育推進事業費							
事 業 名	ふるさと子どもカレッジ事業							
目的及び事業内容	石巻の自然・文化等の素材を資源として経済的視点で体験し、地域の自然や伝統文化などの学習機会を創出する。							
取 組 実 績	ふるさと子どもカレッジ事業 第 1 回（河南）参加者 石巻市内小学校5・6年生21人 （石巻地区16人、河南地区5人）河南ジュニア・リーダー3人参加 第 2 回（桃生）参加者 石巻市内小学校5・6年生22人 （石巻地区17人、河南地区2人、桃生3人）桃生ジュニア・リーダー4人参加 延べ参加者数 43人							
成 果	東日本大震災の影響で参加者を固定して通年で活動することが困難であったため、震災の被害が少ない地区で2回実施した。							
成果に係る評価	震災による影響のため実施回数は少なかったものの、学校の枠を超えて、郷土の自然・文化の良さを改めて知る機会となった。 地元の製造会社や農家の協力を得るなど、地域人材を活用し、子どもの体験活動を生かしながら豊かな情操の育成が図られた。訪問地は少なかったが、子どもたちが石巻全域に目を向けるきっかけになったと考える。							
予算の執行状況	（単位：円）							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
178,387	89,302				89,302			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )																																																																	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		( )																																																																	
	2 目	文化財保護費		( 2 )	文化財を保護し継承する		( )																																																																	
小 事 業	文化財保護管理費																																																																							
事 業 名	無形文化財保存継承事業																																																																							
目的及び事業内容	地域固有の伝統芸能及び民族芸能に関する活動への支援を行い、伝統芸能の継承を図るとともに、地域の活性化に寄与する。																																																																							
取 組 実 績	<p>伝統的な芸能の継承及び発展を図る国・県・市指定無形民俗文化財保持団体に対し、補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>補助金</th> <th>指定区分</th> <th>指定年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雄勝法印神楽保存会</td> <td>18,000円</td> <td>国指定</td> <td>平成8年12月20日</td> </tr> <tr> <td>牡鹿法印神楽古実会</td> <td>18,000円</td> <td>県指定</td> <td>昭和46年3月2日</td> </tr> <tr> <td>寺崎の法印神楽保存会</td> <td>18,000円</td> <td>県指定</td> <td>昭和48年11月6日</td> </tr> <tr> <td>檜崎法印神楽保存会</td> <td>18,000円</td> <td>県指定</td> <td>平成2年1月26日</td> </tr> <tr> <td>雄勝町秋葉神社氏子会</td> <td>18,000円</td> <td>県指定</td> <td>平成6年11月29日</td> </tr> <tr> <td>寺崎のはねこ踊り保存会</td> <td>18,000円</td> <td>県指定</td> <td>平成21年4月28日</td> </tr> <tr> <td>福地法印神楽保存会</td> <td>18,000円</td> <td>市指定</td> <td>昭和57年8月1日</td> </tr> <tr> <td>飯野川法印神楽保存会</td> <td>18,000円</td> <td>市指定</td> <td>昭和62年1月20日</td> </tr> <tr> <td>渡波塩田つぼ打ち唄保存会</td> <td>18,000円</td> <td>市指定</td> <td>平成4年6月1日</td> </tr> <tr> <td>大沢南部神楽保存会</td> <td>18,000円</td> <td>市指定</td> <td>平成11年12月16日</td> </tr> <tr> <td>和湊法印神楽保存会</td> <td>18,000円</td> <td>市指定</td> <td>平成11年12月16日</td> </tr> <tr> <td>鹿又法印神楽保存会</td> <td>18,000円</td> <td>市指定</td> <td>平成11年12月16日</td> </tr> <tr> <td>鹿嶋ばやし保存会</td> <td>18,000円</td> <td>市指定</td> <td>平成11年12月16日</td> </tr> <tr> <td>須江獅子舞保存会</td> <td>18,000円</td> <td>市指定</td> <td>平成11年12月16日</td> </tr> <tr> <td>神取給人町法印神楽保存会</td> <td>18,000円</td> <td>市指定</td> <td>平成16年2月2日</td> </tr> </tbody> </table>								団体名	補助金	指定区分	指定年月日	雄勝法印神楽保存会	18,000円	国指定	平成8年12月20日	牡鹿法印神楽古実会	18,000円	県指定	昭和46年3月2日	寺崎の法印神楽保存会	18,000円	県指定	昭和48年11月6日	檜崎法印神楽保存会	18,000円	県指定	平成2年1月26日	雄勝町秋葉神社氏子会	18,000円	県指定	平成6年11月29日	寺崎のはねこ踊り保存会	18,000円	県指定	平成21年4月28日	福地法印神楽保存会	18,000円	市指定	昭和57年8月1日	飯野川法印神楽保存会	18,000円	市指定	昭和62年1月20日	渡波塩田つぼ打ち唄保存会	18,000円	市指定	平成4年6月1日	大沢南部神楽保存会	18,000円	市指定	平成11年12月16日	和湊法印神楽保存会	18,000円	市指定	平成11年12月16日	鹿又法印神楽保存会	18,000円	市指定	平成11年12月16日	鹿嶋ばやし保存会	18,000円	市指定	平成11年12月16日	須江獅子舞保存会	18,000円	市指定	平成11年12月16日	神取給人町法印神楽保存会	18,000円	市指定	平成16年2月2日
団体名	補助金	指定区分	指定年月日																																																																					
雄勝法印神楽保存会	18,000円	国指定	平成8年12月20日																																																																					
牡鹿法印神楽古実会	18,000円	県指定	昭和46年3月2日																																																																					
寺崎の法印神楽保存会	18,000円	県指定	昭和48年11月6日																																																																					
檜崎法印神楽保存会	18,000円	県指定	平成2年1月26日																																																																					
雄勝町秋葉神社氏子会	18,000円	県指定	平成6年11月29日																																																																					
寺崎のはねこ踊り保存会	18,000円	県指定	平成21年4月28日																																																																					
福地法印神楽保存会	18,000円	市指定	昭和57年8月1日																																																																					
飯野川法印神楽保存会	18,000円	市指定	昭和62年1月20日																																																																					
渡波塩田つぼ打ち唄保存会	18,000円	市指定	平成4年6月1日																																																																					
大沢南部神楽保存会	18,000円	市指定	平成11年12月16日																																																																					
和湊法印神楽保存会	18,000円	市指定	平成11年12月16日																																																																					
鹿又法印神楽保存会	18,000円	市指定	平成11年12月16日																																																																					
鹿嶋ばやし保存会	18,000円	市指定	平成11年12月16日																																																																					
須江獅子舞保存会	18,000円	市指定	平成11年12月16日																																																																					
神取給人町法印神楽保存会	18,000円	市指定	平成16年2月2日																																																																					
成 果	<p>市内に現存する指定無形民俗文化財保持団体に対して補助金を交付することにより、技術の向上・後継者の育成がよりスムーズに行われ、保存と継承が図られた。 また、指定無形民俗文化財の保存と継承が図られることにより、地域の活性化へ寄与した。</p>																																																																							
成果に係る評価	<p>無形民俗文化財保持団体の活動への支援により、無形民俗文化財の保存と継承が図られた。 伝統芸能及び民俗芸能の衣裳・道具等の維持管理には多額の経費を要するため、無形民俗文化財の保存・継承には、市の補助金は欠かせないものと思料される。</p>																																																																							
予算の執行状況	(単位：円)																																																																							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																		
324,000	270,000				270,000																																																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )									
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくみ		( )									
	2 目	文化財保護管理費		( 2 )	文化財を保護し継承する		( )									
小 事 業	齋藤氏庭園管理費、齋藤氏庭園整備事業費															
事 業 名	国指定名勝「齋藤氏庭園」保存管理事業、国指定名勝齋藤氏庭園復旧事業															
目的及び事業内容	<p>1 国指定名勝「齋藤氏庭園」の保存修復とともに、適切に管理・公開することにより、文化財の保護、保存を図る。</p> <p>2 消防設備工事と、公有化事業に伴う土地境界確定測量業務の実施</p>															
取 組 実 績	<p>1 齋藤氏庭園観覧者数（震災により平成23年7月31日から再開。一部見学できないところがあるため、当分の間観覧料は無料）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>有料観覧者数</th> <th>減免観覧者数</th> <th>無料観覧者数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">0 人</td> <td style="text-align: center;">0 人</td> <td style="text-align: center;">558 人</td> <td style="text-align: center;">558 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 齋藤氏庭園樹木剪定業務</p> <p>3 AEDの設置</p> <p>4 雨漏りの応急措置として建物養生シート張替業務を行った。</p>								有料観覧者数	減免観覧者数	無料観覧者数	合計	0 人	0 人	558 人	558 人
有料観覧者数	減免観覧者数	無料観覧者数	合計													
0 人	0 人	558 人	558 人													
成 果	<p>1 平成21年4月から「齋藤氏庭園の管理団体」として、3人の管理人を雇用し、維持管理を行うとともに、樹木剪定等庭木の管理を委託し、国民共有の財産として保存できた。</p> <p>2 消防設備工事と土地境界測量業務を実施した。</p>															
成果に係る評価	<p>管理団体としての基本的な維持管理を実施した。          なお、抜本的な保存修復については、文化庁の指導を受けながら、修復計画を策定し、実施していく。</p>															
(単位：円)																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳											
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源								
	17,255,144		16,025,969		5,211,000			10,814,969								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心豊かな誇れるまち	復興計画	( )																					
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を生かして輝ける機会をつくる		( )																					
	4 目	図書館費		( 1 )	市民の主体的な学習活動を支援する		( )																					
小 事 業		図書館活動費																										
事 業 名		読書環境整備事業																										
目的及び事業内容		図書館法第3条に基づき、必要な資料を収集し住民の利用に供する。公立図書館は「図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、地域住人の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するとともに、住民の教育と文化の発展に寄与する」ことを目的とされている。これらを踏まえ、市民の要望に応えるためには有用な図書資料や情報の収集・提供に努め図書館サービスを推進する。																										
取 組 実 績		<p>1 新刊書を中心とした図書資料の購入・貸出</p> <p>(1) 新刊書を中心に、図書館で選定した図書及び利用者からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、市民に提供した。</p> <p>(2) 新着図書コーナーに、新着図書の一覧を掲示することによって、新刊図書等の利用促進が図られた。</p> <p>2 レファレンス等による関連図書資料の貸出</p> <p>(1) 受付カウンターでのレファレンス(調査・相談)業務に基づき、テーマに関連した図書資料を含めて紹介するとともに、貸出を行った。</p> <p>(2) 特定テーマによる企画展・ミニ展示を開催し、利用者の関心を惹きつけ、図書資料の紹介と貸出につなげることができた。</p> <p>3 ブックスタート活動の一環とした事業</p> <p>毎月1回、1歳代の乳幼児を対象に、「あかちゃんおはなし会」を実施した。</p> <p>4 「紙芝居とお話の会」</p> <p>毎週1回、市民を対象に紙芝居、手遊び等を実施した。</p>																										
成 果		<p>本館は、東日本大震災以降避難所として活動しながらも、6月の一部開館以降、全部開館に向けた準備を進め、10月に全部開館することができた。</p> <p>新刊書の購入・提供に力点を置き、さらにリクエスト図書の購入・他館からの借受けを促進して対応した。また、レファレンスサービスによる図書資料の紹介の充実を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書購入冊数</td> <td>6,840 冊</td> <td>6,703 冊</td> <td>7,150 冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>356,541 冊</td> <td>311,884 冊</td> <td>160,474 冊</td> </tr> <tr> <td>リクエスト処理件数</td> <td>8,929 件</td> <td>7,469 件</td> <td>2,156 件</td> </tr> <tr> <td>調査相談サービス</td> <td>2,016 件</td> <td>1,668 件</td> <td>1,275 件</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H21	H22	H23	図書購入冊数	6,840 冊	6,703 冊	7,150 冊	貸出冊数	356,541 冊	311,884 冊	160,474 冊	リクエスト処理件数	8,929 件	7,469 件	2,156 件	調査相談サービス	2,016 件	1,668 件	1,275 件
主な指標項目	H21	H22	H23																									
図書購入冊数	6,840 冊	6,703 冊	7,150 冊																									
貸出冊数	356,541 冊	311,884 冊	160,474 冊																									
リクエスト処理件数	8,929 件	7,469 件	2,156 件																									
調査相談サービス	2,016 件	1,668 件	1,275 件																									
成果に係る評価		<p>東日本大震災の影響によって、10月より全館開館となったため主な各指標は減少する結果となったが、震災という状況のなかで、情報提供としての本の貸出はもとより、調査相談サービスに努めたことにより被災者の心のケアや情報ニーズに応えることができた。</p> <p>しかし、依然として、人口1人当りの図書購入費が、県平均を下回っている状況にあるため、引き続き、図書購入費を確保、拡大させていく必要がある。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	12,000,000	12,000,000				12,000,000																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心豊かな誇れるまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を生かして輝ける機会をつくる		( )	
	4 目	図書館費		( 1 )	市民の主体的な学習活動を支援する		( )	

小 事 業	図書館活動費
-------	--------

事 業 名	図書館・分館システムネットワーク事業
-------	--------------------

目的及び事業内容	図書館及び分館において、均質のサービスを計画的かつ安定的に市民に提供するため、資料の一元化と図書システムのネットワーク化を実施する。 また、市内のどの地区に住んでいても、均質の図書館サービスを提供できるための体制を構築する。
----------	---

取 組 実 績	平成23年度は河南・河北分館、平成24年度には牡鹿・桃生・雄勝・北上分館のネットワーク化の予定であったが、震災の影響により平成23年度では、河北分館のシステム更新のみ実施した。																									
	ネットワーク事業計画(システム関連)																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本 館</td> <td>H 22 年 度</td> <td>H 22 年 度</td> </tr> <tr> <td>河北分館</td> <td>H 23 年 度</td> <td>H 23 年 度</td> </tr> <tr> <td>河南分館</td> <td>H 23 年 度</td> <td>H 24 年 度</td> </tr> <tr> <td>桃生分館</td> <td>H 24 年 度</td> <td>H 24 年 度</td> </tr> <tr> <td>牡鹿分館</td> <td>H 24 年 度</td> <td>H 24 年 度</td> </tr> <tr> <td>雄勝分館</td> <td>H 24 年 度</td> <td>未定</td> </tr> <tr> <td>北上分館</td> <td>H 24 年 度</td> <td>未定</td> </tr> </tbody> </table>	区分	計画	実績	本 館	H 22 年 度	H 22 年 度	河北分館	H 23 年 度	H 23 年 度	河南分館	H 23 年 度	H 24 年 度	桃生分館	H 24 年 度	H 24 年 度	牡鹿分館	H 24 年 度	H 24 年 度	雄勝分館	H 24 年 度	未定	北上分館	H 24 年 度	未定	※稼動はH24年度（分館再開がH24年5月）
区分	計画	実績																								
本 館	H 22 年 度	H 22 年 度																								
河北分館	H 23 年 度	H 23 年 度																								
河南分館	H 23 年 度	H 24 年 度																								
桃生分館	H 24 年 度	H 24 年 度																								
牡鹿分館	H 24 年 度	H 24 年 度																								
雄勝分館	H 24 年 度	未定																								
北上分館	H 24 年 度	未定																								

成 果	当初計画では、平成23年度に河北・河南分館をネットワーク化する予定であったが、震災の影響により計画の変更を余儀なくされ、河北分館のシステム機器更新のみ実施することができた。
-----	--

成果に係る評価	河南分館については、当初より予定していた桃生・牡鹿分館とあわせて平成24年度にシステムの更新を行う。 なお、平成24年10月から河南・桃生・牡鹿分館のシステムを稼動することで、現時点において開館している市内の図書館本館・分館全てにおいて、資料の一元化、図書システムのネットワーク化が図られることとなるが、雄勝・北上分館については震災により施設が流失していることから、施設の復旧等の時期に合わせて事業を実施することとした。
---------	---

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	148,050	148,050				148,050

(単位：円)

予算科目	10 款	教育費	総合計画			復興計画																					
	6 項	社会教育費																									
	13 目	遊楽館費																									
小 事 業	遊楽館管理費																										
事 業 名	遊楽館管理運営事業																										
目的及び事業内容	市民の交流及び文化・体育の振興と健康増進を図り、もって公共の福祉の向上に資する。																										
取 組 実 績	1 年間利用者数の状況																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール（楽屋・リハーサル室含む。）</td> <td>297人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>8,600人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>1,343人</td> </tr> <tr> <td>会議室（和室・相談室含む。）</td> <td>5,630人</td> </tr> <tr> <td>情報化研修室・視聴覚コーナー</td> <td>420人</td> </tr> <tr> <td>調理室・工房</td> <td>436人</td> </tr> <tr> <td>図書・ビデオ</td> <td>873人</td> </tr> <tr> <td>見学者</td> <td>7,945人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>25,544人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※利用者数については、施設の貸し出しを再開した11月1日からの実績である。</p>								区 分	利用者数	ホール（楽屋・リハーサル室含む。）	297人	アリーナ	8,600人	トレーニング室	1,343人	会議室（和室・相談室含む。）	5,630人	情報化研修室・視聴覚コーナー	420人	調理室・工房	436人	図書・ビデオ	873人	見学者	7,945人	計
区 分	利用者数																										
ホール（楽屋・リハーサル室含む。）	297人																										
アリーナ	8,600人																										
トレーニング室	1,343人																										
会議室（和室・相談室含む。）	5,630人																										
情報化研修室・視聴覚コーナー	420人																										
調理室・工房	436人																										
図書・ビデオ	873人																										
見学者	7,945人																										
計	25,544人																										
成 果	<p>震災により避難所となっていたことから、一般の利用を再開したのは11月1日からとなった。ホールは天井が落下したため利用できなかったことから、音楽関係のイベントはパイプオルガンが設置されているロビーの利用となったが、オープンスペースであることから他の来館者も視聴することができたため、主催者や来館者に喜んでいただくことができた。</p> <p>また、室内プールについては、震災による影響で指定管理者が辞退したことや設備の復旧等に期間を要したことから、平成24年3月31日まで休止せざるを得なかった。</p> <p>ホールや室内プール以外の施設については、本館の開館を心待ちにしていた利用者が徐々に増えてきており、様々な活動が出来る機会を提供できた。</p>																										
成果に係る評価	<p>ホールや室内プールの復旧が完了していないことから、一部施設のみの利用であったが、個人や団体がそれぞれの利用形態に応じて利活用された。</p> <p>今後は、施設の復旧を早急に実施し、震災以前の利用者数となるよう取り組んでいく。</p>																										
予算の執行状況	（単位：円）																										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																					
31,523,114	31,495,092			2,043,629	29,451,463																						



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )								
	6 項	社会教育費		第 節			( )								
	13 目	遊楽館費		( )			( )								
小 事 業	遊楽館活動費														
事 業 名	遊楽館活動事業														
目的及び事業内容	本館のシンボルであるパイプオルガンの効果的活用と、かなんホールを拠点に充実した音楽施設を市民に有効的に活用していただくため、自主事業を開催することで、実際に公開しながら施設の活用方法と利点をPRし、利用者の拡充と市民の音楽文化振興に寄与する。														
取 組 実 績	1 文化振興事業実施状況														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事 業 名</th> <th>人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こもればいフォーラム</td> <td>ヒルズコンサート (5回開催)</td> <td>142人</td> </tr> </tbody> </table>						事 業 名		人 数	こもればいフォーラム	ヒルズコンサート (5回開催)	142人			
事 業 名		人 数													
こもればいフォーラム	ヒルズコンサート (5回開催)	142人													
2 体育振興事業実施状況															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事 業 名</th> <th>人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トレーニング機器使用講習会</td> <td>(10回開催)</td> <td>121人</td> </tr> </tbody> </table>						事 業 名		人 数	トレーニング機器使用講習会	(10回開催)	121人				
事 業 名		人 数													
トレーニング機器使用講習会	(10回開催)	121人													
成 果	<p>震災により避難所となっていたことから、一般の利用を再開したのは11月1日からとなったが、かなんホールについては被害が大きく利用は困難であったため、ホールを活用しての事業は中止せざるを得なかった。唯一被害が少なかったパイプオルガンについては、ボランティアの方々の協力により修復することができたほか、1月から開催したヒルズコンサートによって、市民に音楽での癒しの時間を提供することができた。</p> <p>また、トレーニング機器使用の講習会も11月から実施し、トレーニングジム利用者の拡大を図り、市民の健康増進に寄与した。</p>														
成果に係る評価	東日本大震災による影響から、当初予定していた事業のほとんどが実施できなかったが、ボランティアの方々の協力によって、本館のシンボルであるパイプオルガンによるヒルズコンサートを震災前と同様に開催することができた。														
(単位：円)															
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳										
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
	135,000		25,837					25,837							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )									
	6 項	社会教育費		第 節			( )									
	13 目	遊楽館費		( )			( )									
小 事 業	かなんパークゴルフ場運営費															
事 業 名	かなんパークゴルフ場管理運営事業															
目的及び事業内容	市民にパークゴルフを通してスポーツの楽しさと、ふれあいの場を提供し体力向上や健康増進を図る。															
取 組 実 績	<p>1 指定管理者 有限会社ふれあいパーク</p> <p>2 指定管理料 10,905,000円</p> <p>3 指定期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日</p> <p>4 実施事業</p> <p>(1) 初心者への指導、講習会（随時）</p> <p>(2) 各種大会の開催（2回開催）</p> <p>(3) 快適なゴルフ場を目指すための施設整備（芝管理、立木の維持、施設の点検維持管理）</p> <p>5 年間利用状況</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>49,195人</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>46,543人</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>30,843人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	利用人数	H21	49,195人	H22	46,543人	H23	30,843人
年度	利用人数															
H21	49,195人															
H22	46,543人															
H23	30,843人															
成 果	平成17年7月のオープン以来毎年度利用者数が増加していたが、東日本大震災による影響で6月1日からの再開となったことや利用者が被災しているなどの要因から、平成22年度の利用者数を大きく下回ったものの、パークゴルフ場の本来の目的であるスポーツの楽しさと、ふれあいの場を提供することができた。															
成果に係る評価	利用者数の減少は震災による影響が大きかったことから、今後時間の経過とともに以前のようにパークゴルフに親しむ方が多く来場するものと期待している。ただし、利用者は管理の行き届いた施設を利用する傾向があることから、利用者の期待に応えられるような施設整備が課題である。															
予算の執行状況	(単位：円)															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
10,905,000	10,905,000				10,905,000											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 1 )	みんなで築く災害に強いまちづくり
	6 項	社会教育費		第 節		( 3 )	減災まちづくりの推進
	16 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	都市基盤の復旧・復興
小 事 業	文化財保護管理費 (東日本大震災関係費分)						
事 業 名	埋蔵文化財発掘調査事業〔復興〕						
目的及び事業内容	文化財保護法等に基づき、震災により住宅や店舗等を失った市民が新たに住居や店舗の建築等を行う際に、必要となる埋蔵文化財の発掘調査を実施する。また、大規模開発等における事前の分布調査、試掘・確認調査及び重要遺跡の保存目的調査を実施する。						
取 組 実 績	復興交付金基幹事業の埋蔵文化財発掘調査事業 事 業 名 : 個人住宅建築事業 対象遺跡名 : 御塩蔵場跡 遺跡の所在地 : 石巻市鹿又字天王前						
成 果	埋蔵文化財について事業実施前に発掘調査することにより、適切な記録保存が図られた。						
成果に係る評価	埋蔵文化財の適切な記録保存が図られた。なお、今後は各種震災復興関連事業の実施に伴い、相当数の埋蔵文化財包蔵地で発掘調査が必要となることが予想されていることから、復興の遅れとならないよう適切に調査を実施していく必要がある。						
予算の執行状況	(単位:円)						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
221,025	221,025			165,000	56,025		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 項	社会教育費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる
	16 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
小 事 業	文化財保護管理費（東日本大震災関係分）						
事 業 名	無形民俗文化財再興事業						
目的及び事業内容	東日本大震災により、用具が流出するなどの被害を受けた無形民俗文化財再興のため対象団体へ支援を行い、地域の絆を再構築するとともに、伝統文化のさらなる発展につなげる。						
取 組 実 績	1 国指定重要無形民俗文化財雄勝法印神楽の刀の再取得事業への補助金 375,000円 2 国指定重要無形民俗文化財雄勝法印神楽の面の再取得事業への補助金 1,500,000円 3 宮城県指定無形民俗文化財おめつきの太鼓の再取得事業への補助金 25,000円						
成 果	1 国指定重要無形民俗文化財雄勝法印神楽の流失した用具等の再取得により、平成23年10月19日鎌倉市において雄勝法印神楽 in 鎌倉宮や11月19、20日の両日に旧雄勝総合支所前で実施した雄勝復興市で神楽を演じることができた。 2 宮城県指定無形民俗文化財おめつきの太鼓の再取得により、平成24年1月24日に秋葉神社祭典でおめつきを実施することができた。						
成果に係る評価	東日本大震災で被災した指定文化財の復旧により、貴重な文化財の保存・継承が図られた。また、地域の伝統文化の再興により、被災者の心の復興にも貢献した。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,900,000	1,900,000			1,875,000	25,000	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第 節			( )	
	16 目	東日本大震災関係費		( )			( )	
小 事 業		図書館活動費（東日本大震災関係分）						
事 業 名		仮設住宅に対する図書館サービス						
目的及び事業内容		東日本大震災により被災し仮設住宅で生活している市民に対し、移動図書館車における図書館サービス（本の貸出、返却、予約、相談業務）を実施する。また、仮設住宅敷地内のささえあい拠点センターに図書を設置し、生活支援や被災者の心のケアと読書環境の整備を図る。						
取 組 実 績		<p>1 平成23年11月より移動図書館車（ひより号）で仮設住宅を巡回し、図書館サービス（本の貸出、返却、予約、相談業務）を実施した。 （実施期間）平成23年11月から仮設住宅が終了するまでの期間 （実施周期）2週間に一度の巡回 （巡回地区及び箇所数）蛇田地区4箇所、稲井地区8箇所、渡波地区3箇所、河北地区7箇所、雄勝地区3箇所、河南地区9箇所、桃生地区4箇所、北上地区2箇所、牡鹿地区3箇所</p> <p>2 仮設住宅敷地内に設置のささえあい拠点センターに図書を設置し、3か月ごとに本の入れ替えを実施した。 （ささえあい拠点センター）蛇田、開成、大橋、万石浦</p>						
成 果		<p>1 仮設住宅で生活する被災者に情報源として本を提供することや、本を読むことにより心のケアに寄与することができた。 （巡回日数） 延べ84日 （巡回箇所数） 延べ510箇所 （登録者数） 283人 （貸出人数） 1,214人 （貸出冊数） 5,206冊</p> <p>2 各ささえあい拠点センターに本を設置したことにより、本の冊数的には豊富ではないものの、いつでも本を読むことができる環境を整備することができた。 （設置冊数） 約200冊×4箇所＝約800冊</p>						
成果に係る評価		図書館利用者の利便性が図られ、これまでは利用していなかった市民の新規の登録にもつながった。また、定期的に巡回していることで、巡回を心待ちにしている利用者もあり、被災者の本を読むことでの心のケアや仮設住宅に一人で暮らす方々と関わりを持つことでの心のケアが図られた。今後は巡回していない仮設住宅にもサービスを提供するため、集会所・談話室への図書設置を拡大していくよう努める。						
（単位：円）								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
		1,233,000	1,144,302			807,158	337,144	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )	
	7 項	保健体育費		第 節			( )	
	3 目	学校給食費		( )			( )	

小 事 業 学校給食センター運営費、賄材料費

事 業 名 学校給食センター運営事業

目的及び事業内容 児童・生徒に豊かで栄養のバランスのとれた食事を提供し、心身の健全な育成に資する。学校給食を通じて望ましい食生活食習慣の基盤形成を促すとともに、会食をとおして豊かな人間関係を育成する。地場産物を使い地域の特色を生かした学校給食を実施することにより、地域の産物や食文化を理解し尊重する心を育てる。

実施状況 (平成23年10月1日現在)

区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率
小学校	43校	7,949人	完全給食	共同調理場方式	100%
中学校	21校	4,314人	完全給食	共同調理場方式	100%
幼稚園	3園	80人	完全給食(桃生)	共同調理場方式	100%
		113人	補食給食(湊・河北)	共同調理場方式	

  

区分 センター名	小学校		中学校		幼稚園		計	
	対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数
渡波学校給食センター								
湊学校給食センター								
住吉学校給食センター	11校	3,205人	7校	2,051人			18校	5,256人
河北学校給食センター	16校	2,505人	7校	698人	2園	113人	25校(園)	3,316人
河南学校給食センター	10校	2,108人	5校	1,482人	1園	80人	16校(園)	3,670人
牡鹿学校給食センター	6校	131人	2校	83人			8校	214人

成 果

- 1 栄養の改善及び増進が図られた。
- 2 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うことができた。
- 3 食育における食文化の継承として、学校給食において次の地場産物利用を図り、食事の提供のみならず「生きた教材」として地域の産物や食文化を理解し尊重する心を育成した。
- 4 明治時代から続く近代捕鯨という伝統的地域特性を生かし、災害時でも日本鯨類研究所の協力を得て、全学校に対し鯨肉を使用した給食を提供できた。
- 5 給食費の未納対策に関して、教育委員会と学校が一体となり収納対策に努め、納入者の不公平感の解消及び適切な財源確保に努めた。

年度	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額
H22	30校	247人	6,735,633円
H23	16校	93人	2,389,629円
比較増減	△ 14校	△ 154人	△ 4,346,004円

成果に係る評価 学校給食については、児童・生徒の心身の健全な発育、正しい食習慣の醸成、健康管理のための食生活改善等の目的があり、また、生きた教材として地場産物を使った献立等を提供し食育に資することも求められている。平成23年度においては、震災の影響もあり使用割合は少し下がったが、この状況下で出来る限りの対応はできた。給食費の未納対策については、震災の影響もあったが、これまでの地道な活動の成果が確認出来る結果となったので、今後も引き続き対応していきたい。また、震災により渡波・湊学校給食センターが被災したため、施設が使用できない状況が続いている。今後、児童・生徒・園児に「安全・安心」な学校給食を提供するため、早急に給食センターを建て替える必要がある。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	815,527,000	799,657,474			578,628,347	221,029,127